

注 文 書

令和 7 年度

工 事 名 第 4 5 号 河原前橋旧橋撤去工事

施工場所 名取市 高舘川上 地内

【工事概要】

旧橋撤去工（上部工、P1 橋脚）一式

切廻し道路工 L=72.7m、W=4.0m

付替え道路工 L=40.1m、W=4.0m

作業ヤード造成工 一式

【完成工期】

契約締結日の翌日から令和 8 年 2 月 27 日

【契約条件】

前払金 有

契約保証金 徴収

出来高部分払 無

【添付書類】

- 1 位置図
- 2 特記仕様書
- 3 金抜設計書
- 4 参考数量計算書
- 5 図面

位置図

地理院地図

GSI Maps



名取市高館川上 地内

－ 特 記 仕 様 書 －

施 工 条 件 明 示 書

工事番号	第45 号	工事名	河原前橋旧橋撤去工事		事務所名	建設部土木課		
項 目		条 件	内 容			施 工 方 法		備 考
1 共通仕様書の適用		本工事は、宮城県土木部制定「共通仕様書」を適用するほか、本特記仕様書により施工するものとする。 仕様書の記載内容の優先は、「特記仕様書」「共通特記仕様書」「共通仕様書」の順とする。						
2 主任技術者及び監理技術者(以下、配置技術者という。)の配置								
(1) 現場施工に着手する日の指定 (配置技術者の配置要件の特例) ※平成25年4月1日以降適用「現場施工の着手日を指定した工事における配置技術者の配置要件の特例について」		○	契約工期初日以降、90日以内に着手 (手持ち工事が完了した場合や、制約条件がない場合等は、期日以前の着手も可能)					
(2) 請負者が着手日を選択出来る工事(フレックス工事)		○	契約工期初日以降、○○日以内に着手 土木工事共通特記仕様書第1編1－1－4によること。					
(3) 上記以外		●	請負者は、現場施工に着手する日の指定がない限り、原則として、契約工期初日以降、30日以内に現場施工に着手					
		上記現場施工に着手する日の前日までの期間において、工事準備等を含め工事現場が不稼働であることが明確な場合は、配置技術者の工事現場への専任は要しない。 出納局契約課ホームページ参照のこと。http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/keiyaku/kk50.html						
3 特例監理技術者の配置								
		○対象	●対象外	建設業法第26条第3項ただし書の規程の適用を受ける監理技術者(特例監理技術者)の配置。 特例監理技術者を対象とする場合は下記によるものとする				
		1 特例監理技術者を配置する場合は以下の(ア)～(サ)の要件を全て満たさなければならない。 (ア)本工事の現場施工に着手する日までに、建設業法第26条第3項ただし書による監理技術者の職務を補佐する者(以下、「監理技術者補佐」という。)を専任で配置すること。 (イ)監理技術者補佐は、一級施工管理技士補(令和3年4月1日施行予定)又は一級施工管理技士等の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有するものであること。なお、監理技術者補佐の建設業法第27条の規定に基づく技術検定種目は、特例監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。 (ウ)監理技術者補佐は入札参加者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。 (エ)同一の特例監理技術者が配置できる工事は、本工事を含め同時に2件までとする。 (ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体性が認められるもの(当初の請負契約以外の請負契約が随意契約により締結される場合に限る。))については、これら複数の工事を一の工事とみなす。) (オ)特例監理技術者が兼務できる工事は、本工事を所管する土木事務所(地域事務所)管内及び隣接土木事務所(地域事務所)管内の宮城県内で施行される工事でなければならない。 (カ)特例監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を適正に遂行しなければならない。 (キ)特例監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。 (ク)監理技術者補佐が担う業務等について、明らかにすること。 (ケ)専任補助者を配置しない工事であること。 (コ)維持管理業務同士は兼務できない。 ※24時間体制で応急処理工や緊急巡回等が必要な業務等 (サ)配置技術者の追加専任を必要としないもの。 2 本工事の監理技術者が特例監理技術者として兼務する場合、配置技術者届出書及び特例監理技術者の配置を予定している場合の確認事項を提出すること。 3 本工事において、特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は適切にコリンズ(CORIINS)への登録を行うこと。						
4 積算基準及び設計単価の適用期日								
(1) 積算基準及び設計単価の適用について		●ある	○ない	積算基準及び設計単価は、令和 7年 6月 の基準及び単価としている。				
(2) 工事請負契約締結後における設計単価の変更		●ある	○ない	本工事は、当初工事請負契約締結後において、契約日を基準日として設計単価の設計変更を行うこととする。 なお、設計変更の対象は、資材単価・労務単価及び機械単価等の全ての設計単価とする。 ただし、災害に伴う応急仮工事など緊急を要す工事において、積算月と契約月が同月となる場合など、工事請負契約締結後における設計単価の変更が必要ないと判断される場合においては、適用「なし」を選択することも可能とし、その場合は下欄にその理由を記載する。 適用「なし」の理由				
5 工程関係								
(1) 関連工事による施工時期の調整		●ある	○ない	東北電力及びNNTの移設工事及び水道の仮移設工事との調整が必要。				
(2) 施工時期による制限		●ある	○ない	上部工撤去は非出水期の11月着手とし、それまでに切廻し道路や作業ヤード造成を行うこと。				
(3) 関係機関等との協議の未成立		●ある	○ない	通行止めに係る協議(道路法第95条第2項)			宮城県公安委員会	
(4) 関係機関等との協議結果、特定条件の付加		●ある	○ない	河川協議の結果旧橋撤去工事は非出水期(11月～5月)に行うこと。			宮城県仙台土木事務所	
6 公害対策関係								
(1) 施工方法、機械施設、作業時間等の制限		○ある	●ない	各関係法令、条例による				
7 安全対策関係								
(1) 交通安全施設等の指定		●ある	○ない	交通誘導員及び迂回路看板について指定がある。				
(2) 占用埋設物との近接工事による 施工方法、作業時間の制限		●ある	○ない	切廻し道路で水道の取出し管が埋設している箇所がある。				
8 排水工関係								
(1) 濁水、湧水処理のための特別な対策の必要性		○ある	●ない					

9 建設副産物対策関係(建設発生土)									
(1) 建設発生土の処理・処分について				本工事の残土は、下記に運搬するものとする。なお、下記により難い場合が生じたときは、協議を行うこととする。					
				処理・処分する場所		処理・処分方法	距 離	制 限 時 間	備 考
				名称	所在地				
(2) 建設発生土	処理・処分	☒	☐	グリーンセンター跡地	名取市愛島笠島字東南沢34	仮置き	3.3 km		
10 建設副産物対策関係(建設発生土以外の建設副産物)									
(1) 建設発生土以外の建設副産物の処理・処分について				下記の処理・処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、下記によらない場合は、監督職員と協議すること。また、処理・処分に先立ち処分場等の受入れの可否を確認すること。なお、廃棄物の処理に当たっては「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守すること(環境省または循環型社会推進課のHPを参照)。					
				処理・処分する場所		処理・処分方法	距 離	制 限 時 間	
工事現場内及び工事現場間で再利用する場合は、施工管理及び契約方法等について、施工計画打合せ時に監督職員と協議すること。									
(2) 建設発生土以外の建設副産物	処理・処分	コンクリート塊(有筋)	☒	☐	東京石灰工業㈱仙台工場	名取市高館吉田字館山2	中間処理	3.0 km	時 分 ～ 分
		コンクリート塊(無筋)	☒	☐	東京石灰工業㈱仙台工場	名取市高館吉田字館山2	中間処理	3.0 km	時 分 ～ 分
		アスファルト塊	☒	☐	東京石灰工業㈱仙台工場	名取市高館吉田字館山2	中間処理	3.0 km	時 分 ～ 分
			☒	☐				km	時 分 ～ 分
		その他	☒	☐				km	時 分 ～ 分
(3) 再生材の利用			☒	☐	種類・数量		再生密粒度アスコン20F、RC－40、再生瀝青安定処理材(40)		
11 現場環境改善				☒	☐	内容			
現場環境改善の具体的な実施内容、実施期間については、施工計画書に明記し、監督職員と協議すること。									
12 品質証明									
(1) 品質証明書および施工プロセス品質確認チェックリストの対象			☒	☐	請負工事費が、1億5千万円以上の工事および発注者が必要と認める工事、土木工事共通特記仕様書第3編1－1－9および品質証明実施要領によること。				
(2) 施工プロセス品質確認チェックリストの対象			☒	☐	上記に該当せず、請負工事費が1億円以上の工事、土木工事共通特記仕様書第3編1－1－9および品質証明実施要領によること。				
13 標準的な設計図書による発注方式			☒	☐	土木工事共通特記仕様書第3編1－1－14によること。				
14 資材関係									
(1) 生コンクリート			生コンクリートの使用に当たっては、「宮城県生コンクリート品質管理監査会議」が交付する「品質管理監査合格証」を有する工場の製品、又は同等以上の品質管理を行っていることが認められる工場の製品を使用すること。						
(2) 購入土			購入土を使用する場合は、材料承諾時に「採石法第33条による採取計画認可書の写し」、又は「砂利採取法第16条の採取計画認可書の写し」を提出すること。						
(3) 宮城県グリーン製品の利用			必須		1.植生基盤材等、視線誘導標、型枠用合板は、原則として宮城県グリーン製品を用いること。				
「宮城県グリーン製品」利用推進指針によること。「宮城県グリーン製品」を使用した場合は、請負者は循環型社会推進課HPより「チェックリスト」をダウンロードし、使用材料や数量等を入力後、工事完了後に監督職員に提出(電子メール)すること。			☒	☐	2. 盛土材、埋め戻し材				
			☒	☐	3. その他()				
(4) 県内産製品の使用			☒	☐	本工事は、「県土木部発注工事における県内産製品優先使用の試行要領」の対象工事である。工事の施工にあたっては、試行要領に基づき適切に実施すること。 事業管理課ホームページ参照 http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/kensanzai.html				
(5) 現場吹付法枠工			吹付モルタルにおける圧縮強度の規格値は、18N/mm2以上とする。						
15 設計変更の手続き									
(1) 設計変更の手続きについて			設計変更については、工事請負契約書第19条～第26条及び共通仕様書第1編1－1－14～1－1－16に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「工事請負契約における設計変更ガイドライン」(宮城県土木部)によることとする。						
詳細については、以下のホームページ「設計変更ガイドライン【土木工事,建設関連業務】」を参考とすること。 https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/henkou-guideline.html トップページ＞しごと・産業＞土木・建築・不動産＞建設業＞設計変更ガイドライン【土木工事,建設関連業務】									
16 その他									
(1) 舗装の下請制限について			☒	☐	土木工事共通特記仕様書第1編1－1－3によること。				
(2) 「ダンプ土砂運搬等下請を行う工事における工事費内訳調査」の対象の有無			☒	☐	本工事は「ダンプ土砂運搬等下請を行う工事における工事費内訳調査」の対象工事であり、請負者は、調査票等に必要事項を正確に記入し発注者に提出する他、ダンプ土砂運搬等下請負契約に関する関係書類を提出すること。 請負者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負者は、当該工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む)も同様の義務を負う旨を周知すること。				
(3) 三者会議の対象の有無			☒	☐	本工事は、工事着手前等に当該工事の発注者、施工者、詳細設計等を担当した設計者が参加して、設計図書と現場の整合性の確認及び設計意図の伝達等を行う「三者会議」を設置する対象工事である。 土木工事共通特記仕様書第3編1－1－5によること。				
(4) 貸与資料の有無			☒	☐	本仕様書によるもののほか、工事施工に関して必要な資料として工事契約後下記の資料を貸与する。 貸与資料(設計計算書、設計測量成果等の成果品については、必要に応じて貸与する。)				
(5) 発注者支援(工事監督支援業務)対象の有無			☒	☐	工事監督支援業務の受注者が現場監督支援する場合、工事請負者に対し「工事打合せ簿」により担当技術者(所属会社等名・氏名)の通知を行うこと。				
(6) 法定外の労災保険の付保について			本工事では、法定外の労災保険加入にかかる保険料を予定価格に反映しているため、本工事において受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。なお、加入後受注者は、工事請負契約書第62条に基づき、証券又はこれに代わるものを直ちに発注者に提示すること。						
(7) 熱中症対策に資する現場管理費補正の試行の有無			☒	☐	本工事は熱中症対策に資する現場管理費率の補正の試行対象工事である。本運用による設計変更を希望する場合は、別途定める「熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領」に基づき、発注者に協議すること。				

働き方改革・生産性向上に関する事項

項 目		条 件		内 容	
17 総合評価落札方式における「ICT施工・3次元化等の活用提案」の適用の有無					
(1)「ICT施工・3次元化等の活用提案」の適用工事		☐ 対象	☒ 対象外	1. 対象工事の場合、活用する技術については、「ICT施工・3次元化等の活用提案 工事計画書」に基づき選択すること。 2. ICT施工・3次元化等の活用提案の適用の有無に係わらず、「ICT施工・3次元化等の活用提案 工事計画書」に記載の技術は、施工計画・技術提案等(いわゆる作文)の評価対象外とする。(「簡易型(施工計画型)」、「標準型」、「高度型」の場合) なお、「ICT施工・3次元化等の活用提案」の対象外工事の場合も、同様の取扱いとする。	
(2)実施された技術についての費用計上(設計変更)		☐ 対象	☒ 対象外	設計変更の積算手法については、総合評価落札方式の手引きのとおりとする。なお、(1)が対象外の場合は、当該項目も対象外となる。	
18 業務効率化					
(1)工事情報共有システムの活用		☐ 対象	☒ 対象外	本工事は工事情報共有システムの活用対象工事であり、請負者は工事着手時に別途定める「工事情報共有システム事前協議チェックシート」により、必要事項について監督職員と協議を行うこと。実施にあたっては「土木工事における工事情報共有システムの実施要領」及び「土木工事における工事情報共有システムの活用ガイドライン」に基づき行うこと。	
(2)工事書類の簡素化の試行について		☐ あり	☒ なし	本工事は、工事書類の簡素化を目的とした試行対象工事である。実施にあたっては「宮城県土木部における工事書類簡素化の試行要領」に基づき行うこと。	
(3)ウィークリースタンス等の推進		本工事は、受発注者協力のもと、建設業の魅力創出を図ることを目的にウィークリースタンス等の推進を図ることとし、「ウィークリースタンス等実施要領」に基づき、取組内容を受発注者間で協議及び共有し、工事を進めていくこととする。 詳細については、宮城県土木部事業管理課のホームページを参照すること。(http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/weekly.html)			
19 週休2日モデル工事の適用の有無					
(1)週休2日モデル工事		☒ 対象	☐ 対象外	1. 週休2日モデル工事の対象工事の場合は、名取市「週休2日モデル工事」実施要領に基づき行うこととする。 なお、週休2日モデル工事の型式については、下記(2)のとおりする。 2. 改正労働基準法(平成30年6月成立)による罰則付きの時間外労働規制が令和6年4月から建設業に適用されることを踏まえ、令和6年4月には、維持工事等も含めて、週休2日の確保を目指すことから、「週休2日モデル工事」での発注を原則とする。ただし、災害復旧工事など工事期間が限定されるなど確保が難しい場合は、例外的に週休2日対象工事としないことも可能とする。その場合は「実施困難工事」として、下欄にその理由を記載する。	
(2)週休2日モデル工事の型式		☒ 発注者指定型	☐ 受注者希望型	1. 発注者指定型の場合は、当初積算時に4週8休以上を確保した場合の経費の補正を行うこととし、設計変更時に達成状況に応じた補正の見直しを行うこととする。 2. 受注者希望型の場合は、設計変更時に達成状況に応じた経費の補正を行うこととする。 なお、(1)が実施困難工事の場合は、当該項目も対象外となる。	
(3)週休2日モデル工事の種別		☒ 現場閉	☐ 交替制	現場閉所型：巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて、1日を通して現場や現場事務所を閉所する。 交 替 制：現場閉所を行うことが困難な工事について、技術者及び技能労働者が交替しながら休日確保の取組を行う。	
(4)週休2日モデル工事の区分		週休2日モデル工事の区分は「通期の週休2日」と「月単位の週休2日」に区分する。 当初発注においては「通期の週休2日」を指定、積算している。 「通期の週休2日」：対象期間全体で、4週8休相当以上の休日を取得したと認められる状態。 「月単位の週休2日」：対象期間の全ての月において、4週8休以上の休日を取得したと認められる状態。			
20 女性活躍推進モデル工事の適用の有無					
(1)女性活躍推進モデル工事		☐ 対象	☒ 対象外	実施に当たっては、宮城県土木部「女性活躍推進モデル工事」実施要領に基づき行うものとする。 実施要領は、宮城県ホームページ(https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/)で確認のこと。	
21 下請承認事務簡素化モデル工事の適用の有無					
(1)下請承認事務簡素化モデル工事		☐ 対象	☒ 対象外	実施に当たっては、発注者から工事打合せ簿により、「下請承認事務簡素化モデル工事」である旨を別途指示するものとする。	
22 建設現場の遠隔臨場に関する工事の適用の有無					
(1)建設現場の遠隔臨場に関する試行工事		☐ 対象	☒ 対象外	「建設現場の遠隔臨場に関する試行工事(以下、「本試行工事」という。))は、受注者における「段階確認に伴う手待ち時間の削減や確認書類の簡素化」や発注者(監督員)における「現場臨場の削減による効率的な時間の活用」等を目指し、動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)とWeb会議システム等を使用して「段階確認」、「材料確認」と「立会」の遠隔臨場を行うものである。なお、本試行工事は、『建設現場の遠隔臨場に関する試行要領(案)』の内容に従い実施する。(事業管理課ホームページ https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/enkakurinjou.html) 本試行工事を対象とする場合は下記によるものとする。 1) 段階確認・材料確認、立会での確認 ① 受注者が動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)により撮影した映像と音声はスマートフォン向けのTV電話やWeb会議システムを利用しながら確認するものである。試行内容については、受注者との協議により実施するものとする。 ② 確認実施者が監督補助員の場合は、監督補助員は使用するPCにて遠隔臨場の映像(実施状況)を画面キャプチャ等で記録し、情報共有システム(ASP)等に登録して保管する。(従来の立会資料の管理同様とする。) 2) 機器の準備 本試行工事に要する動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)やWeb会議システム等は受注者が手配、設置するものとし、発注者側にて準備している動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)や既に使用しているWeb会議システム等を含め詳細については、監督職員と協議し決定するものとする。 3) 効果の検証 本試行工事を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。 4) 費用 遠隔臨場に必要機器・通信費は標準積算基準の率計上に含まれる。	

東日本大震災に伴う特例制度

項 目	条 件	内 容	施 行 方 法	備 考
23 被災地以外からの労働者確保に要する間接費の設計変更の運用				
(1) 労働者確保に関する積算方法の試行工事	○ある	●はい	1 本工事は、「共通仮設費(率分)のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用(以下「実績変更対象間接費」という。)について、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、宮城県土木部においては土木工事標準積算基準(宮城県土木部)に基づく金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更する「労働者確保に関する積算方法の工事」である。 営繕費:労働者送迎費、宿泊費、借上費 労務管理費:募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用 2 本工事の予定価格の算出の基礎とした設計額(宮城県土木部においては、土木工事標準積算基準に基づき算出した額)における実績変更対象間接費の割合は次のとおりである。 1) 共通仮設費(率分)に占める実績変更対象間接費(労働者送迎費、宿泊費、借上費)の割合: 12.82% 2) 現場管理費に占める実績変更対象間接費(募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用)の割合: 1.52% 3 受注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更を希望する場合は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「労働者確保に係る実績報告書(様式1)」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書類(領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。)を監督員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。 4 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。 5 発注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象間接費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、宮城県土木部においては土木工事標準積算基準(宮城県土木部)に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差し引いた費用を加算して算出する。なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。 6 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。 7 受注者は、実績変更対象間接費にかかる設計変更について疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。	
(2) 労働者宿舍設置に関する積算方法の試行工事	○ある	●はい	本工事は、「労働者宿舍設置に関する試行要領」(以下試行要領)の対象工事である。 労働者宿舍の設置を希望する場合については、「試行要領」に基づき監督職員と事前に協議すること。	
24 遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更				
(1) 遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更	○ある	●はい	下記の建設資材は、通常地域内から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域以外から調達せざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。また、購入費及び輸送費に要した費用については、証明書類(契約書及び納品書等)を添付するものとする。なお、添付する証明書類(契約書及び納品書等)は原本を提示(写しの提出)とし、受注者名、納品者名、使用資材名、規格・形状、使用(納品)日、使用(納品)数量等が記載されている物を監督員に提出し、その費用について設計変更することとする。 購入費の対象は、生コンクリート・アスファルト合材・石材等(山砂、碎石、捨石、被覆石等)とする。 輸送費の対象は、仮設材(鋼矢板等)とする。	受注者は、購入費及び輸送費を変更したい場合は、「工事打合せ簿」に次の事項を記載し発注者に提出し協議するものとする。 1 地域内及び基地に、建設資材がないことを証明する資料(打合せメモ等) 2 遠隔地から購入及び輸送する建設資材の名称・規格及び製造・生産工場の名称(使用材料の建設資材名及び規格・形状等の証明資料「品質証明」) 3 遠隔地から建設資材を購入及び輸送する理由 4 製造・生産工場を選定した理由 5 見積り書 6 その他、必要と思われる事項
25 施工箇所が点在する工事の間接費の積算				
(1) 施工箇所が点在する工事積算方法の試行の対象工事	○ある	●はい	本工事は、施工箇所が点在する工事であり、共通仮設費及び現場管理費について標準積算と施工実態に乖離が考えられるため、「○○地区(施工箇所○○、○○)、△△地区(施工箇所○○)、□□地区(施工箇所○○)(以下、対象地区という)」ごとに共通仮設費及び現場管理費を算出する「施工箇所が点在する工事積算方法の試行」の対象工事である。	本工事における共通仮設費の金額は、対象地区毎に算出した共通仮設費を合計した金額とする。また、現場管理費の金額も同様に、対象地区毎に算出した現場管理費を合計した金額とする。なお、共通仮設費率及び現場管理費率の補正(大都市、施工地域等)については、対象地区毎に設定する。
26 その他				
(1) 土砂等建設資材を供給元で引取する場合の積算の取扱い	○ある	●はい	・本工事の施工において、調達(購入)する予定の○○の設計単価は、現場持込価格(単価)としている。ただし、契約後、施工計画に基づき、○○の調達条件について異なる場合は、監督職員と協議すること。 ・資材搬入において、標準作業以外の作業(現場外の仮置き等)が生じる場合は、監督職員と協議すること。	
(2) 東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行について	●ある	○はい	間接工事費(共通仮設費及び現場管理費)について、工事量の増大による資材やダンプトラック等の不足による作業効率の低下等により現場の実支出が増大し、積算基準による積算と乖離が生じていることが確認されたため、積算基準書等により各工種区分に従って対象額ごとに求めた共通仮設費率及び現場管理費率に、それぞれ以下の補正係数を乗じている。 補正係数 共通仮設費:1.3 現場管理費:1.1	

特記事項

1 工事一般			
(1) 工事区間における対応	・公道通行時の法定速度の遵守、右左折時の安全確認の徹底に努める。 ・付近の環境に配慮し、粉塵対策として、工事区間内及び公道の清掃に努めるものとする。		
(2) 住民への配慮	・工事実施に先立ち、関係住民への事前説明(チラシ等の配布)の周知徹底すること。 ・作業内容では騒音及び振動が大きくなるものと思慮するが、作業日の数日前に周辺住民への連絡を行うこと	監督職員と協議を行った上で、事前説明方法を検討し、工事中のトラブル発生の防止を図ること。	
(3) 現場内の管理	・現場内の管理を徹底し、事故を未然に防止すること。	諸法令を熟知し、現場に即した措置を講じること。	
(4) 交通誘導員	・本工事においては、1日あたり2人の交通誘導員を配置するものとしており、通行止め開始から2週間については5人計上し、合計226人を計上している。		
2 建設副産物の処理			
(1) 建設副産物処理の報告	・本工事で発生した建設副産物等の処理については、設計計上されていないものに関しても「建設廃棄物処理計画書」を作成すること。	建設廃棄物等を処理した場合は「建設廃棄物等処理結果報告書」、「マニュアルフェスト」、「処理状況写真」を提出のこと。	
(2) 建設副産物の取り扱い	・本工事において発生する建設副産物等の処理については、再生資源利用計画書及び再生資源利用促進書を作成し施工計画書に含めなければならない。	共通仕様書1-1~4に基づき施工計画書に明記すること。	
3 社会的貢献及び安全管理			
(1) 社会的貢献	下記の社会的貢献面で実施した場合は監督員へ報告すること。 1. 道路、河川、海岸等の環境保全を実施した。 2. 県立公園等及びその周辺の環境保全を実施し、動植物の保護等に取り組んだ。 3. 現場事務所、作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせる等、周辺地域との調和を図った。 4. 道路掃除等のボランティア活動に積極的に参加した。 5. 災害時に地域への援助・救援活動に積極的に参加した。 6. その他(例えば、毎年地域のために貢献していること)	・施工計画時点で実施を検討しているものについては、施工計画書へ記載すること。	
(2) 安全管理の創意工夫等	下記の安全管理面で実施した場合は監督員へ報告すること。 1. 安全管理に関する技術開発や、創意工夫に取り組んでいる。 2. 安全職場実現への取り組みが、工事関係者以外(労基署、警察署、住民)から評価されている。 3. 安全衛生管理活動を適宜実施した。 4. 供用道路上、海上航路上での事故防止、一般交通確保等のための工夫 5. ゴミの減量化、分別収集の工夫等	・施工計画時点で実施を検討しているものについては、施工計画書へ記載すること。	
4 一般施工			
(1) 段階確認	段階確認を受ける工種及び施工段階は、共通仕様書に記載のある事項と他請負者の判断が必要であると判断される事項を、事前に書面に監督職員に提出すること。		
5 現場代理人の緩和措置			
(1) 現場代理人の緩和措置	この工事は、「東日本大震災に伴う復旧・復興工事等における現場代理人の常駐義務の緩和措置について」該当工事である。		
6 その他			
(1) 契約終了後の提出物	下記のとおりとする。 1) 施工計画書 2) 設計照査結果 これらについて、契約終了後速やかに提出を行うこと。	監督職員と協議の上提出すること。	
(2) 事前測量	契約後、早急に事前測量を実施し、成果を提出すること。 1) 施工に先立ち事前測量を実施し監督職員の確認を得ること。なお、設計内容と異なる場合は、速やかに監督職員と協議すること。 2) 事前測量の結果を、横断図にして提出のこと。紙ベース(仕様書と同じ計画線も入れる)による提出、及びCD-R等にSFC形式で保存したものを各1部提出すること。		
(3) 設計図書と現地の相違点	着手前調査において、本設計図書との相違点が確認された場合は、直ちに監督職員に報告するとともに、対応を検討し書面で協議すること。		
(4) 詳細図・施工図	構造物等の変更・追加による図面は監督職員と協議のうえ請負業者が作成すること。変更設計に使用できる図面で数量も計上すること。なお、これに伴う費用は受注者の負担とする。		
(5) 竣工時提出資料	竣工時工事成果については、宮城県共通仕様書等に記載されているところであるが、下記のものについては紙面および電子データで提出すること。 ・出来形図(設計最終図面の設計数値に出来形数値を赤書きしたもの) ・設計最終図面(最終設計変更の数値を記載した図面) ・設計最終数量計算書		
(6) その他	1) 工事関係者(作業員含む)は、工事目的を十分に理解することに努め、監督員や現場責任者または設計図書のみに頼らず、常に疑問をもって工事の施工に取り組むこととし、各自が疑問点を解決しやすい職場環境を形成するとともに臨機応変の対応ができるよう現場教育を徹底すること。 2) 本工事は標準積算基準により積算している。現場条件等により標準積算基準での施工が困難な場合は、監督職員と協議すること。 3) その他、疑義のある場合は、事前に監督職員と協議すること。本設計仕様等で疑義が生じた場合は直ちに監督職員と協議するものとし、打合せ・協議・承諾・指示等の内容は全て工事打合せ簿等の書面で行うこと。		
(7) 共通仕様書、マニュアルについて	下記の内容について必ず確認すること。 1) 共通仕様書 : 令和 6年10月 1日以降適用 2) 土木設計マニュアル : 平成21年 7月 1日以降適用		

設計内訳書 (河原前橋)

工事名	河原前橋旧橋撤去工事					事業区分 工事区分	道路維持・修繕 道路維持		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要		
道路維持									
橋梁床版工		式	1						
旧橋撤去工	上部工	式	1						
ワイヤローピング切断工		式	1						
ワイヤローピング貫通孔	コアボーリングφ50	m2	113						単 1号
床版吊り孔	コアボーリングφ100	m	18						単 2号
主桁撤去工		m	25						単 3号
コンクリート取壊し	有筋	日							単 4号
殻運搬		m3	43						単 5号
殻処分	殻種別:コンクリート殻(鉄筋)	m3	43						単 6号
高欄撤去		m3	43						単 7号
鋼材スクラップ	H3	m	37						単 8号
旧橋撤去工	下部工(P1)	t	0.6						単 9号
		式	1						

設計内訳書 (河原前橋)

工事名	河原前橋旧橋撤去工事							事業区分 工事区分	道路維持・修繕 道路維持	摘要
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額		数量・金額増減			
ワイヤローピング切断工										単 10号
		m2	34							
ワイヤローピング貫通孔	コアボーリングφ50									単 11号
		m	10							
P1橋脚ブロック撤去										単 12号
		日								
カッター切断工	切断深さ30cm									単 13号
		m	14							
コンクリート取壊し	有筋									単 14号
		m3	27							
コンクリート取壊し	無筋									単 15号
		m3	4							
殻運搬	有筋									単 16号
		m3	27							
殻運搬	無筋									単 17号
		m3	4							
殻処分	殻種別:コンクリート殻(無筋)									単 18号
		m3	4							
殻処分	殻種別:コンクリート殻(鉄筋)									単 19号
		m3	27							
作業土工										
		式	1							
作業土工										
		式	1							
床掘										単 20号
		m3	14							

設計内訳書 (河原前橋)

工事名	河原前橋旧橋撤去工事				事業区分 工事区分			道路維持・修繕 道路維持	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要		
埋戻し							単 21号		
割栗石詰	150mm-200mm	m3	27				単 22号		
構造物撤去工		m3	27						
根固めブロック撤去		式	1						
根固めブロック撤去		式	1				単 23号		
仮設工		個	22						
土留・仮締切工		式	1						
鋼矢板	鋼矢板型式:III型, 平均鋼矢板長さ:8m, 鋼矢板打込長さ:5.85m, 平均鋼矢板引抜長さ:5.85m	枚	45				単 24号 P1		
土のう	大型土のう規格:1m×1m	袋	122				単 25号 製作・設置		
土のう	大型土のう規格:1m×1m	袋	122				単 26号 撤去		
交通管理工		式	1						
交通誘導警備員		人日					単 27号		
道路改良		式	1						

設計内訳書 (河原前橋)

工事名	河原前橋旧橋撤去工事					事業区分・工種・種別・細別			道路維持・修繕 道路改良		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要		
道路土工											
掘削工					1						
掘削			土質:土砂、施工方法:オープンカット、押土:無し、障害:無し、施工数量:5,000m3未満	式	1				単 28号		
路床盛土工				m3	130						
路床盛土				式	1				単 29号		
路肩盛土工			施工幅員:4.0m以上	m3	20						
路肩盛土				式	1				単 30号		
残土処理工				m3	20						
整地			作業区分:敷均し (p-r')	式	1				単 31号		
土砂等運搬			土質:土砂 (岩塊・玉石混り土含む)	m3	80				単 32号		
排水構造物工				m3	80						
作業土工				式	1						
床掘り (掘削)			土質:土砂	式	1				単 33号		
				m3	4						

設計内訳書 (河原前橋)

工事名	河原前橋旧橋撤去工事							事業区分 工事区分	道路維持・修繕 道路改良		
	工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減				摘要
側溝工											
			式	1							
プレキャストU型側溝		U型側溝規格・横断用側溝250									
			m	6						単 34号	
構造物撤去工											
			式	1							
構造物取壊し工											
			式	1							
コンクリート構造物取壊し		構造物区分:鉄筋構造物,工法区分:機械施工									
			m3	9						単 35号	
舗装版切断		舗装版種別:アスファルト舗装版,アスファルト舗装版厚:15cm以下									
			m	13						単 36号	
舗装版破砕		舗装版種別:アスファルト舗装版,舗装版厚:10cm									
			m2	147						単 37号	
運搬処理工											
			式	1							
殻運搬		殻種別:アスファルト殻									
			m3	13						単 38号	
殻処分		殻種別:アスファルト殻									
			m3	13						単 39号	
殻運搬		殻種別:コンクリート殻(鉄筋)									
			m3	9						単 40号	
殻処分		殻種別:コンクリート殻(鉄筋)									
			m3	9						単 41号	
舗装											
			式	1							

設計内訳書 (河原前橋)

工事名	河原前橋旧橋撤去工事								事業区分 工事区分		道路維持・修繕 舗装	
工事区分・工種・種別・細別					規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要	
舗装工					切廻し道路							
						式	1					
アスファルト舗装工						式	1					
下層路盤(車道・路肩部)					路盤材種類:再生クワジヤブ RC-40, 仕上り厚:130mm						単	42号
上層路盤(車道・路肩部)						m2	237					
表層(車道・路肩部)					路盤材種類:再生瀝青安定処理材(40), 仕上り厚:60mm						単	43号
						m2	231					
土木シート					材料種類:各種(2.30以上2.40t/m3未満), 材料規格:再生密粒度As20F, 舗装厚:50mm, 平均幅員:3.0m超						単	44号
					PP系織布	m2	226					
舗装工					付替え道路							
						m2	211					
アスファルト舗装工						式	1					
						式	1					
下層路盤(車道・路肩部)					路盤材種類:再生クワジヤブ RC-40, 仕上り厚:20mm						単	46号
表層(車道・路肩部)						m2	169					
土木シート					材料種類:各種(2.30以上2.40t/m3未満), 材料規格:再生密粒度As20F, 舗装厚:50mm, 平均幅員:3.0m超						単	47号
					PP系織布	m2	165					
区画線工						m2	232					
						式	1					
区画線工						式	1					

設計内訳書 (河原前橋)

工事名	河原前橋旧橋撤去工事				事業区分 工事区分			道路維持・修繕 舗装	
	工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要	
溶融式区画線		施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:実線 1 5cm,塗布厚:厚1.0mm,排水性舗装:無し		62				単 49号 外側線	
			m						
溶融式区画線		施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:実線 1 5cm,塗布厚:厚1.0mm,排水性舗装:無し		32				単 50号 減速マーク	
			m						
直接工事費									
共通仮設				1					
			式						
共通仮設費				1					
			式						
運搬費				1					
			式						
重建設機械分解組立輸送費		100tクローラークレーン		1				単 51号	
			回						
仮設材運搬費		旧橋撤去(P1)		21.6				単 52号 鋼矢板Ⅲ型	
			t						
共通仮設費 (率計上)				1					
			式						
純工事費				1					
			式						
現場管理費				1					
			式						
工事原価				1					
			式						
一般管理費等				1					
			式						

1 次単価表

						単価使用年月	2025. 06
						歩掛適用年月	2025. 06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 1号	ワイヤーシフト切断工		単位	m2	単位数量	10	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役							
			人				
特殊作業員							
			人				
ワイヤーシフト駆動機械損料							
			日				
ダイヤモンドワイヤー消耗費							
			m	15			
諸雑費							
			式	1			
諸雑費							
			式	1			
合計							
単価							円／m2

1 次単価表

						単価使用年月	2025. 06
						歩掛適用年月	2025. 06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 2号	ワイヤーシフト貫通孔	コアボーリングφ50	単位	m	単位数量	10	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役							
			人				
特殊作業員							
			人				
普通作業員							
			人				
鉄筋用コアビット							
			個	2.8			
コアチューブ							
			個	8.4			
コアアダプター（カップリフト）							
			個	1			
諸雑費							
			式	1			
合計							
単価							円／m

1 次単価表

						単価使用年月	2025. 06
						歩掛適用年月	2025. 06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 3号	床版吊り孔	コアボーリングφ100	単位	m	単位数量	10	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役							
			人				
特殊作業員							
			人				
普通作業員							
			人				
鉄筋用コアセッ							
			個	2.6			
コアチューブ							
			個	6.4			
コアアタフター (カッターリント)							
			個	0.8			
諸雑費							
			式	1			
合計							
単価							円/m

1 次単価表

						単価使用年月	2025. 06
						歩掛適用年月	2025. 06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 4号	主桁撤去工		単位	日	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう世話役							
			人				
橋りょう特殊工							
			人				
普通作業員							
			人				
クレーンクレーン (OP付) 100t吊							
			日				
合計							
単価							円/日

1 次単価表

						単価使用年月	2025. 06
						歩掛適用年月	2025. 06
						労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0
単 5号	コンクリート取壊し	有筋	単位	m3	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし		鉄筋構造物, 機械施工, 無し, 無し, 必要					単 53号
			m3	1			
合計							
単価							円／m3

1 次単価表

						単価使用年月	2025. 06
						歩掛適用年月	2025. 06
						労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0
単 6号	殻運搬		単位	m3	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬		コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし, 機械積込, 無し, 3. 3km以下, 全ての費用					
			m3	1			
合計							
単価							円／m3

- 5 -

宮城県

1 次単価表

						単価使用年月	2025. 06
						歩掛適用年月	2025. 06
						労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0
単 7号	処分	殻種別:コンクリート殻(鉄筋)	単位	m3	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費(m3)		無					単 54号
			m3	1			
合計							
単価							円／m3

1 次単価表

						単価使用年月	2025. 06
						歩掛適用年月	2025. 06
						労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0
単 8号	高欄撤去		単位	m	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
高欄撤去							
			m	1			
合計							
単価							円／m

- 6 -

宮城県

1 次単価表

						単価使用年月	2025. 06
						歩掛適用年月	2025. 06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 9号	鋼材スクラップ	H3	単位	t	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
スクラップ H3							
			t	1			
合計							
単価							円／t

1 次単価表

1 次単価表						単価使用年月		2025. 06	
						歩掛適用年月		2025. 06	
						労務調整係数		1. 000-00000 0. 0 0	
単 10号	ワイヤーシフト切断工		単位	m2	単位数量	10	単価		
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要		
土木一般世話役									
			人						
特殊作業員									
			人						
ワイヤーシフト 駆動機械損料									
			日						
ダイヤモンドワイヤー消耗費									
			m	12					
諸雑費									
			式	1					
諸雑費									
			式	1					
合計							円／m2		
単価									

1 次単価表

単価使用年月	2025. 06
歩掛適用年月	2025. 06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 11号	ワイドソーリング貫通孔	コアボーリングφ50	単位	m	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役								
			人					
特殊作業員								
			人					
普通作業員								
			人					
鉄筋用コアセッター								
			個	2.8				
コアチューブ								
			個	8.4				
コアアダプター (カップ リンク)								
			個	1				
諸雑費								
			式	1				
合計								
単価							円/m	

1 次単価表

単価使用年月	2025. 06
歩掛適用年月	2025. 06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 12号	P1橋脚ブロック撤去		単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役								
			人					
特殊作業員								
			人					
クレーン賃料 100t吊								
			日					
諸雑費								
			式	1				
合計								
単価							円/日	

1 次単価表

						単価使用年月	2025. 06
						歩掛適用年月	2025. 06
						労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0
単 13号	カッター切断工	切断深さ30cm	単位	m	単位数量	10	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役							
			人				
特殊作業員							
			人				
普通作業員							
			人				
クレーン装置付トラック 4～4. 5t級2. 9t吊							単 55号
			日				
カッターブレード* 損耗費 φ 750mm							
			枚	0. 43			
諸雑費							
			式	1			
合計							
単価							円／m

- 11 -

宮城県

1 次単価表

						単価使用年月	2025. 06
						歩掛適用年月	2025. 06
						労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0
単 14号	コンクリート取壊し	有筋	単位	m3	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし		鉄筋構造物, 機械施工, 無し, 無し, 必要					単 53号
			m3	1			
合計							
単価							円／m3

1 次単価表

						単価使用年月	2025. 06
						歩掛適用年月	2025. 06
						労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0
単 15号	コンクリート取壊し	無筋	単位	m3	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし		無筋構造物, 機械施工, 無し, 無し, 必要					単 56号
			m3	1			
合計							
単価							円／m3

- 12 -

宮城県

1 次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 16号	殻運搬	有筋	単位	m3	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬		コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし, 機械積込, 無し, 3.3km以下, 全ての費用					
			m3	1			
合計							
単価							円/m3

1 次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 17号	殻運搬	無筋	単位	m3	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬		コンクリート(無筋)構造物とりこわし, 機械積込, 無し, 3.3km以下, 全ての費用					
			m3	1			
合計							
単価							円/m3

1 次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 18号	殻処分	殻種別:コンクリート殻(無筋)	単位	m3	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費(m3)		無					単 57号
			m3	1			
合計							
単価							円/m3

1 次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 19号	殻処分	殻種別:コンクリート殻(鉄筋)	単位	m3	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費(m3)		無					単 54号
			m3	1			
合計							
単価							円/m3

1 次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 20号	床掘		単位	m3	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
床掘り		土砂, 上記以外(小規模), 全ての費用					
			m3	1			
合計							
単価							円／m3

1 次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 21号	埋戻し		単位	m3	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
埋戻し		最大埋戻幅4m以上					
			m3	1			
合計							
単価							円／m3

- 15 -

宮城県

1 次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 22号	割栗石詰	150mm-200mm	単位	m3	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
割栗石 150mm～200mm							
			m3	1			
合計							
単価							円／m3

1 次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 23号	根固めブロック撤去		単位	個	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
根固めブロック撤去		撤去・仮置き, 無し, ラフレシクルン(油圧伸縮ゾア)25t吊, 標準					
			個	1			
合計							
単価							円／個

- 16 -

宮城県

單個使用年月	2025.06
步掛適用年月	2025.06
勞務調整係數	1.000-00000 0.0 0

- 17 -

宮城県

單価使用年月	2025. 06
歩掛適用年月	2025. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

- 18 -

宣城县

1 次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 27号	交通誘導警備員		単位	人日	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員B							単 63号
			人日				
合計							
単価							円／人日

1 次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 28号	掘削	土質:土砂,施工方法:オープンカット,押土:無し,障害:無し,施工数量:5,000m3未満	単位	m3	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
掘削		土砂,オープンカット,無し,無し,5,000m3未満					
			m3	1			
合計							
単価							円／m3

1 次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 29号	路床盛土	施工幅員:4.0m以上	単位	m3	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
路床盛土		4.0m以上,20,000m3未満,無し					
			m3	1			
合計							
単価							円／m3

1 次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 30号	路肩盛土		単位	m3	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
埋戻し		最大埋戻幅1m未満					
			m3	1			
合計							
単価							円／m3

1 次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 31号	整地	作業区分:敷均し(ルース)	単位	m3	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
整地		敷均し(ルース),標準(10,000m3未満),無し					
			m3	1			
合計							
単価							円/m3

1 次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 32号	土砂等運搬	土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)	単位	m3	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬		標準,ベッカ山積0.8m3(平積0.6m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,4.0km以下					
			m3	1			
合計							
単価							円/m3

- 21 -

宮城県

1 次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 33号	床掘り(掘削)	土質:土砂	単位	m3	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
掘削		土砂,上記以外(小規模),小規模(標準)					
			m3	1			
合計							
単価							円/m3

1 次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 34号	フレキスU型側溝	U型側溝規格:横断用側溝250	単位	m	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝		据付け,無し,無し,側溝(各種),L=2000mm,1000kg/個以下,無し,無し,有り,再生グッチャン 40~0,0.5m3/10m					単 64号
			m	1			
合計							
単価							円/m

- 22 -

宮城県

1 次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 35号	コンクリート構造物取壊し	構造物区分:鉄筋構造物,工法区分:機械施工	単位	m3	単位数量	1	単価
名称・規格			条件	単位	数量	単価	金額
構造物とりこわし			鉄筋構造物,機械施工,無し,無し,不要				
			m3	1			
合計							
単価							円/m3

1 次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 36号	舗装版切断	舗装版種別:アスファルト舗装版,アスファルト舗装版厚:15cm以下	単位	m	単位数量	1	単価
名称・規格			条件	単位	数量	単価	金額
舗装版切断			アスファルト舗装版,15cm以下,全ての費用				
			m	1			
合計							
単価							円/m

- 23 -

宮城県

1 次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 37号	舗装版破碎	舗装版種別:アスファルト舗装版,舗装版厚:10cm	単位	m2	単位数量	1	単価
名称・規格			条件	単位	数量	単価	金額
舗装版破碎			アスファルト舗装版,無し,不要,15cm以下,有り,全ての費用				
			m2	1			
合計							
単価							円/m2

1 次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 38号	殻運搬	殻種別:アスファルト殻	単位	m3	単位数量	1	単価
名称・規格			条件	単位	数量	単価	金額
殻運搬			舗装版破碎,機械(騒音対策不要,厚15cm以下),無し,3.5km以下,全ての費用				
			m3	1			
合計							
単価							円/m3

- 24 -

宮城県

1 次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 39号	殻処分	殻種別:アスファルト殻	単位	m3	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費(m3)		無					単 66号
			m3	1			
合計							
単価							円/m3

1 次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 40号	殻運搬	殻種別:コンクリート殻(鉄筋)	単位	m3	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬		コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,3.3km以下,全ての費用					
			m3	1			
合計							
単価							円/m3

- 25 -

宮城県

1 次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 41号	殻処分	殻種別:コンクリート殻(鉄筋)	単位	m3	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費(m3)		無					単 54号
			m3	1			
合計							
単価							円/m3

1 次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 42号	下層路盤(車道・路肩部)	路盤材種類:再生クワッチャレン RC-40, 仕上り厚:130mm	単位	m2	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
下層路盤(車道・路肩部)		130mm, 1層施工, 再生クワッチャレン RC-40, 全ての費用					
			m2	1			
合計							
単価							円/m2

- 26 -

宮城県

1 次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 43号	上層路盤(車道・路肩部)	路盤材種類:再生瀝青安定処理材(40),仕上り厚:60mm	単位	m2	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
上層路盤(車道・路肩部)		再生瀝青安定処理材(40),3.0m超,60mm,プライムコート PK-3,全ての費用	m2	1			
合計							
単価							円/m2

1 次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 44号	表層(車道・路肩部)	材料種類:各種(2.30以上2.40t/m3未満),材料規格:再生密粒度As20F,舗装厚:50mm,平均幅員:3.0m超	単位	m2	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
表層(車道・路肩部)		3.0m超,50mm,各種(2.30以上2.40t/m3未満),タックコート PK-4,全ての費用	m2	1			
合計							
単価							円/m2

1 次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 45号	土木シート	PP系織布	単位	m2	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
土木安定シート			m2	1			
合計							
単価							円/m2

1 次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 46号	下層路盤(車道・路肩部)	路盤材種類:再生クワッシャラン RC-40,仕上り厚:20mm	単位	m2	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
下層路盤(車道・路肩部)		200mm,1層施工,再生クワッシャラン RC-40,全ての費用	m2	1			
合計							
単価							円/m2

1 次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 47号	表層(車道・路肩部)	材料種類:各種(2.30以上2.40t/m3未満),材料規格:再生密粒度As20F,舗装厚:50mm,平均幅員:3.0m超	単位	m2	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
表層(車道・路肩部)		3.0m超,50mm,各種(2.30以上2.40t/m3未満),プライムコート PK-3,全ての費用	m2	1			
合計							
単価							円/m2

1 次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 48号	土木シート	PP系織布	単位	m2	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
土木安定シート			m2	1			
合計							
単価							円/m2

- 29 -

宮城県

1 次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 49号	溶融式区画線	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:実線 15cm,塗布厚:厚1.0mm,排水性舗装:無し	単位	m	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置		無し,溶融式手動,無し,実線 15cm,無し,1.0mm,無し,無し,含有量15~18%,白,アスファルト舗装,全ての費用	m	1			単 67号
合計							
単価							円/m

1 次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 50号	溶融式区画線	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:実線 15cm,塗布厚:厚1.0mm,排水性舗装:無し	単位	m	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線設置		無し,溶融式手動,無し,実線 15cm,無し,1.0mm,無し,無し,含有量15~18%,白,アスファルト舗装,全ての費用	m	1			単 67号
合計							
単価							円/m

- 30 -

宮城県

1 次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 51号	重建設機械分解組立輸送費	100tクローラークレーン	単位	回	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
重建設機械分解組立輸送		分解組立・輸送(往復),クローラークレーン系80超150下(7742超3下),標準(1.0)					単 68号
			回	1			
合計							
単価							円/回

1 次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 52号	仮設材運搬費	旧橋撤去(P1)	単位	t	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
仮設材等の運搬 (鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)		北海道・東北・北陸・中・四国・九州,12.6km,12m以内,各種(実数入力),1,無					単 69号
			t	1			
仮設材等の積込み取卸し費		積込み、取卸し(往復分)					単 70号
			t	1			
合計							
単価							円/t

- 31 -

宮城県

2 次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 53号	構造物とりこわし	鉄筋構造物,機械施工,無し,無し,必要	単位	m3	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋構造物 昼間 機械施工 制約無							
			m3	1			
合計							
単価							円/m3

2 次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 54号	処分費(m3)	無	単位	m3	単位数量	100	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費 Con設処分費(有筋)							
			m3	100			
合計							
単価							円/m3

- 32 -

宮城県

單個使用年月	2025.06
步掛適用年月	2025.06
勞務調整係數	1.000-00000 0.0 0

- 33 -

宮城県

單価使用年月	2025. 06
歩掛適用年月	2025. 06
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

- 34 -

宮城県

單僑使用年月	2025. 06
步掛適用年月	2025. 06
勞務調整係數	1. 000-00000 0. 0 0

- 34 -

宮城県

2次単価表

単価使用年月	2025.06
歩掛適用年月	2025.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 58号	WJ併用ハーフパイプ工による鋼矢板打込み	陸上,電動式 60kW,無し,III型,6m以下,50<=Nmax<100	単位	枚	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役			人					
とび工			人					
普通作業員			人					
溶接工			人					
ハーフパイプ杭打機運転(陸上施工)		打込み,電動式60kW,III型	日				単 71号	
杭打ち用ウォーターポンプ運転			日				単 72号	
諸雑費(率+まるめ)			式	1				
合計								
単価							円/枚	

2次単価表

単価使用年月	2025.06
歩掛適用年月	2025.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 59号	ハーフパイプ工による鋼矢板引抜き	陸上,電動式60kW,6m以下	単位	枚	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役			人					
とび工			人					
普通作業員			人					
ハーフパイプ杭打機運転(陸上施工)		引抜き,電動式60kW	日				単 73号	
諸雑費(率+まるめ)			式	1				
合計								
単価							円/枚	

2次単価表

						単価使用年月	2025. 06
						歩掛適用年月	2025. 06
						労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0
単 60号	鋼矢板賃料(普通鋼矢板)	III型, 8m/枚, 37日, 無, 無	単位	枚	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼矢板(本矢板) 3型(60kg/m)		供用日数:37日					
			t	0. 48			
合計							
単価							円/枚

2次単価表

						単価使用年月	2025. 06
						歩掛適用年月	2025. 06
						労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0
単 61号	大型土のう工	製作・設置, 購入土, 6mを超え20m以下 , 標準(1. 0)	単位	袋	単位数量	10	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役							
			人				
特殊作業員							
			人				
普通作業員							
			人				
大型土のう袋材 H=1. 08m W=1. 1m							
			袋	10			
購入土 不洗							
			m3	10			
バックホー運転		製作・設置, 6mを超え20m以下					単 74号
			日				
オフレン・クレーン[油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型] 25t吊							
			日				
諸雑費(率+まるめ)							
			式	1			
合計							
単価							円/袋

單個使用年月	2025.06
步掛適用年月	2025.06
勞務調整係數	1.000-00000 0.0 0

- 39 -

宮城県

單僱使用年月	2025.06
步掛適用年月	2025.06
勞務調整係數	1.000-00000 0.0 0

- 40 -

宮城県

2次単価表

単価使用年月	2025.06
歩掛適用年月	2025.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 64号	U型側溝	据付け,無し,無し,側溝(各種),L=2000mm,1000kg/個以下,無し,無し,有り,再生クラッシャー 40~0,0.5m3/10m	単位	m	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
U型側溝 昼間 L2000 1000kg以下 制約無			m	10				
側溝 横断側溝250 (Gr蓋込み)			個	5				
再生クラッシャー RC-40			m3	0.6				
諸雑費(まるめ)			式	1				
合計								
単価							円/■	

2次単価表

単価使用年月	2025.06
歩掛適用年月	2025.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 65号	構造物とりこわし	鉄筋構造物,機械施工,無し,無し,不要	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
鉄筋構造物 昼間 機械施工 制約無			m3	1				
合計								
単価							円/■	

2次単価表

単価使用年月	2025.06
歩掛適用年月	2025.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 66号	処分費(m3)	無	単位	m3	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 As殻処分費			m3	100				
合計								
単価							円/■	

2次単価表

単価使用年月	2025.06
歩掛適用年月	2025.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 67号	区画線設置	無し、溶融式手動、無し、実線 15cm、 無し、1.0mm、無し、無し、含有量15～18%、白、アスファルト舗装、全ての費用	単位	m	単位数量	1,000	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
区画線設置(溶融式) 昼間 豪雪無 実線15cm 制約無			m	1,000				
トリアクハベント 溶融型 3種1号 ビーズ 15～18 白			kg	390				
ガラスビーズ 0.106～0.850mm			kg	25				
接着用アライマー 区画線用			kg	25				
軽油			L	40				
諸雑費(率+まるめ)			式	1				
合計								
単価							円/㎡	

2次単価表

単価使用年月	2025.06
歩掛適用年月	2025.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 68号	重建設機械分解組立輸送	分解組立+輸送(往復)、クローラレン系80 超150下(7742超3下)、標準(1.0)	単位	回	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
特殊作業員			人					
クローラレン[油圧伸縮ジブ型] 60t吊			日					
運搬費等率			式	1				
諸雑費(まるめ)			式	1				
合計								
単価							円/回	

2次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 69号	仮設材等の運搬 (鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)	北海道・東北・北陸・中・四国・九州, 12 .6km, 12m以内, 各種(実数入力), 1, 無	単位	t	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
基本運賃区分B 製品長12m以内 20kmまで			t	1			
合計							
単価							円/t

2次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 70号	仮設材等の積込み取卸し費	積込み、取卸し(往復分)	単位	t	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
積込み、取卸し費(仮設材等)			t	2			
合計							
単価							円/t

3次単価表

						単価使用年月	2025.06
						歩掛適用年月	2025.06
						労務調整係数	1.000-00000 0.0 0
単 71号	ﾊﾞｲﾌﾞﾛﾝﾔﾐ杭打機運転 (陸上施工)	打込み, 電動式60kW, III型	単位	日	単位数量	1	単価
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手(特殊)			人				
軽油			l	76			
ﾊﾞｲﾌﾞﾛﾝﾔﾐ(単体) [電動式・普通型] 46l～480kN 60kW		機械条件: 供用 持込	供用日				
ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ [油圧駆動ｲﾝﾁ・ﾗﾁｿｼﾞﾌﾞ] 排出ｶﾞｽ対策型(2014年規制) 50～55t吊		機械条件: 供用 持込	供用日				
諸雑費(まるめ)			式	1			
合計							
単価							円/日

3 次単価表

単価使用年月	2025.06
歩掛適用年月	2025.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 72号	杭打ち用ウォーターポンプセット運転		単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
軽油								
			L	139				
杭打ち用ウォーターポンプセット〔エンジン式〕 排ガス型(第3次)14.7MPa325L/min		機械条件:供用 持込						
			供用日					
合計								
単価							円/日	

3 次単価表

単価使用年月	2025.06
歩掛適用年月	2025.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 73号	ハイブリッド型杭打機運転 (陸上施工)	引抜き, 電動式60kW	単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(特殊)								
			人					
軽油								
			L	76				
ハイブリッド型(単体)〔電動式・普通型〕 461～480kN 60kW		機械条件:供用 持込						
			供用日					
クローラークレーン〔油圧駆動クレーン・ラチェット式〕 排出ガス対策型(2014年規制)50～55t吊		機械条件:供用 持込						
			供用日					
諸雑費(まるめ)								
			式	1				
合計								
単価							円/日	

3次単価表

単価使用年月	2025.06
歩掛適用年月	2025.06
労務調整係数	1.000-00000 0.0 0

単 74号	バックホリ運転	製作・設置, 6mを超え20m以下	単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(特殊)								
			人					
軽油								
			L	119				
バックホリ(クロー)「標準・クレーン機能付き」 山積0.8m3(平積0.6m3)2.9t吊								
			日					
諸雑費(まるめ)								
			式	1				
合計								
単価							円/日	

積算参考資料（間接費補正一覧）

単 価 使 用 年 月	2025年6月		
歩 掛 適 用 年 月	2025年6月		
基 準 適 用 年 月	2025年6月	被 災 地 機 械 損 料 補 正	対象機械なし
共通仮設費（率計上）			
主 た る 工 種	02:河川・道路構造物工事		
施 工 地 域 等 補 正	一般交通影響有り（2）－2		1.2
除 雪 工 事 補 正	未使用		1.00
I C T 施 工 補 正	補正なし		1.0
週 休 2 日 補 正	4週8休以上(通期)		1.02
復 興 係 数 補 正	あり		1.3

積算参考資料（間接費補正一覧）

現場管理費		
施 工 地 域 等 補 正	一般交通影響有り（2）－2	1.1
工 期 日 数（熱 中 症 補 正）	0日間	
真 夏 日 日 数	0日間	
補 正 係 数	補正なし	0.00
熱 中 症 補 正	自動設定	0.00%
工 期 日 数	0日間	
冬 期 日 数	0日間	
積 雪 寒 冷 地 区 分	補正なし	0.00%
施 工 時 期 補 正	自動設定	0.00%
緊 急 工 事 補 正	補正なし	0.00%
砂 防 ・ 地 滑 り 補 正	補正なし	0.00%
I C T 施 工 補 正	補正なし	1.0
週 休 2 日 補 正	4週8休以上(通期)	1.03
復 興 係 数 補 正	あり	1.1
一般管理費		
前 払 金 支 出 割 合 に よ る 補 正	補正を行わない	1.00
財 団 法 人 等 に よ る 補 正	補正を行わない	1.00
契 約 保 証 に 係 る 補 正 率	金銭的保証	0.04%

【 河原前橋 】
旧橋撤去数量計算書

§ 1. 数量総括表

旧橋撤去工 数量総括表

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格等	単位	数量	備 考
撤去工							
	上部工撤去工						
		ブロック吊り重量	端部(地覆部)	100t吊トラッククレーン	t	4.1	1ブロックあたり
			中間部	〃	t	3.6	〃
		コンクリート取壊し	鉄筋構造物		m ³	43.9	
		殻処理	鉄筋コンクリート殻		t	110.0	V=43.9m ³
		床版吊り孔		コアボーリングφ100	m	25.12	
		ワイヤーソーイング切断工			m ²	113.0	
		ワイヤーソーイング貫通孔		コアボーリングφ50	m	18.84	
	橋面撤去工						
		ガードレール撤去	笠木付ガードレール	Gr-C-2B相当	m	37.26	
		撤去重量			t	0.6	
	下部工撤去工						
		ブロック吊り重量	A1橋台 ①	100t吊クローラクレーン	t	2.3	1ブロックあたり
			A1橋台 ②	〃	t	1.9	〃
			A1橋台 ③	〃	t	3.7	〃
			A1橋台 ④	〃	t	1.8	〃
			A1橋台 ⑤	〃	t	2.1	〃
			A1橋台 ⑥	〃	t	4.6	〃
			A1橋台 ⑦	〃	t	2.1	〃
			A1橋台 ⑧	〃	t	2.4	〃
			A1橋台 ⑨	〃	t	5.5	〃
			A1橋台 ⑩	〃	t	2.4	〃
			A1橋台 ⑪	〃	t	2.2	〃
			A1橋台 ⑫	〃	t	5.0	〃
			A1橋台 ⑬	〃	t	2.2	〃
			A1橋台 ⑭	〃	t	5.2	〃
			A1橋台 ⑮	〃	t	3.1	〃

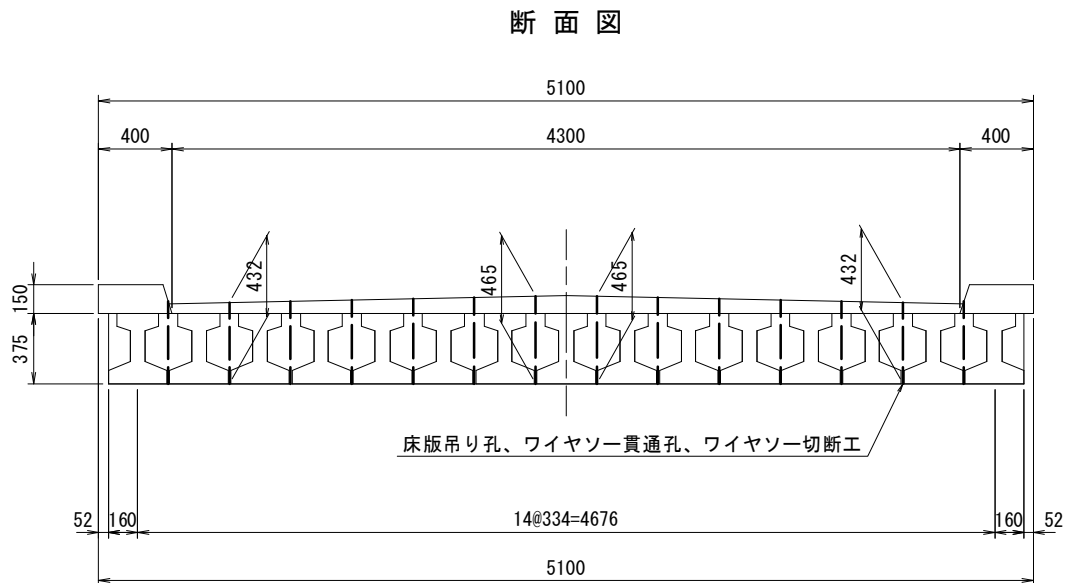
旧橋撤去工 数量総括表

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格等	単位	数量	備 考
			P1橋脚 ①	〃	t	4.1	〃
			P1橋脚 ②	〃	t	4.1	〃
			P1橋脚 ③	〃	t	4.1	〃
			P1橋脚 ④	〃	t	4.3	〃
			P1橋脚 ⑤	〃	t	5.8	〃
			P1橋脚 ⑥	〃	t	3.1	〃
			P1橋脚 ⑦	〃	t	2.9	〃
			A2橋台 ①	50t吊トラックレーン	t	2.3	〃
			A2橋台 ②	〃	t	4.1	〃
			A2橋台 ③	〃	t	4.1	〃
			A2橋台 ④	〃	t	4.2	〃
			A2橋台 ⑤	〃	t	4.1	〃
			A2橋台 ⑥	〃	t	4.3	〃
			A2橋台 ⑦	〃	t	5.8	〃
			A2橋台 ⑧	〃	t	3.1	〃
			A2橋台 ⑨	〃	t	2.9	〃
		コンクリート取壊し	鉄筋構造物	P1	m ³	27.4	
			無筋構造物	P1	m ³	4.8	
		殻処理	鉄筋コンクリート殻	P1	m ³	27.4	
			無筋コンクリート殻	P1	m ³	4.8	
			殻処理合計		m ³	32.2	
		ワイヤーソーイング切断工			m ²	34.2	
		ワイヤーソーイング貫通孔		コアボーリングφ50	m	10.8	
		油圧式静的破壊工			m	5.31	
		油圧シリンダ挿入孔		φ200	m	3.00	
		カッター切断工		切断深さ30cm	m	14.4	
	仮設工						
		矢板工	L=8.00m	鋼矢板Ⅲ型	枚	45	
		大型土のう工	設置・撤去		袋	122	

旧橋撤去工 数量総括表

[illegible]

§ 2. 上部工撤去工



(1) ブロック吊り重量

- ・ 端部(地覆部) N=4本

$$V1 = 0.18 \times 9.000 = 1.62 \text{ m}^3$$

1ブロックあたり重量

$$W1 = 1.62 \times 2.500 \text{ t/m}^3 = 4.1 \text{ t}$$

- ・ 中間部 N=26本

$$V2 = 0.16 \times 9.000 = 1.44 \text{ m}^3$$

1ブロックあたり重量

$$W2 = 1.44 \times 2.500 \text{ t/m}^3 = 3.6 \text{ t}$$

(2) コンクリート取壊し合計 (鉄筋構造物)

- ・ 端部(地覆部)

$$V1 = 1.62 \times 4 = 6.48 \text{ m}^3$$

- ・ 中間部

$$V2 = 1.44 \times 26 = 37.44 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 43.92 \text{ m}^3$$

(3) 殻処理合計 (鉄筋コンクリート殻)

- ・ 端部(地覆部)

$$W1 = 4.1 \times 4 = 16.4 \text{ t}$$

- ・ 中間部

$$W2 = 3.6 \times 26 = 93.6 \text{ t}$$

$$\Sigma W = 110.0 \text{ t}$$

(4) 床版吊り孔 (コアボーリング $\phi 100$)

$$L = (0.432 + 0.465) \times 1/2 \times 56 = 25.116 \quad \text{m}$$

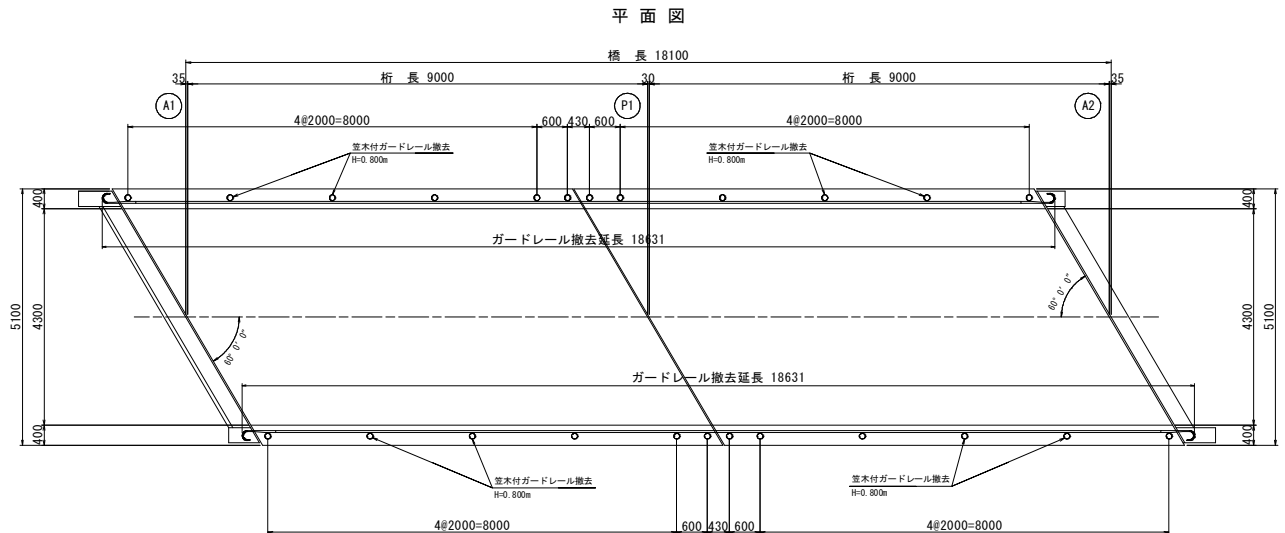
(5) ワイヤソーイング切断工

$$A = (0.432 + 0.465) \times 1/2 \times 9.000 \times 28 = 113.02 \quad \text{m}^2$$

(6) ワイヤソー貫通孔 (コアボーリング $\phi 50$)

$$L = (0.432 + 0.465) \times 1/2 \times 42 = 18.837 \quad \text{m}$$

§ 3. 橋面撤去工



(1) ガードレール撤去 (笠木付ガードレール)

1) 撤去延長

$$L = 18.631 \times 2 = 37.262 \text{ m}$$

2) 撤去重量

$$W = 37.262 \times 16.4 \text{ kg/m} \div 1000 = 0.6 \text{ t}$$

(2) ガス切断工

支柱 (φ 114.3)

$$L1 = \pi \times 0.114 \times 24 = 8.595 \text{ m}$$

§ 4. 下部工撤去工

(1) ブロック吊り重量

1) A1橋台

① N=1本 (鉄筋構造物)

$$\begin{aligned}
 V1 &= 0.300 \times 0.346 \times 0.100 \times 2 &= 0.02 \text{ m}^3 \\
 V2 &= 0.300 \times 0.475 \times 5.773 &= 0.82 \text{ m}^3 \\
 V3 &= (0.254 + 0.427) \times 1/2 \times 0.300 \times 0.575 &= 0.06 \text{ m}^3 \\
 V4 &= (0.081 + 0.254) \times 1/2 \times 0.300 \times 0.575 &= 0.03 \text{ m}^3 \\
 \hline
 \Sigma V &= 0.93 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

$$W = 0.93 \times 2.500 \text{ t/m}^3 = 2.3 \text{ t}$$

② N=1本 (無筋構造物)

$$\begin{aligned}
 V5 &= (0.700 + 0.884) \times 1/2 \times 1.000 && \times (0.482 + 1.290) \times 1/2 &= 0.70 \text{ m}^3 \\
 V6 &= (0.254 + 0.427) \times 1/2 \times 0.300 \times 1.000 &= 0.10 \text{ m}^3 \\
 \hline
 \Sigma V &= 0.80 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

$$W = 0.80 \times 2.350 \text{ t/m}^3 = 1.9 \text{ t}$$

③ N=2本 (無筋構造物)

$$V7 = (0.700 + 0.884) \times 1/2 \times 1.000 \times 2.000 = 1.58 \text{ m}^3$$

$$W = 1.58 \times 2.350 \text{ t/m}^3 = 3.7 \text{ t}$$

④ N=1本 (無筋構造物)

$$\begin{aligned}
 V8 &= (0.700 + 0.884) \times 1/2 \times 1.000 && \times (1.291 + 0.483) \times 1/2 &= 0.70 \text{ m}^3 \\
 V9 &= (0.081 + 0.254) \times 1/2 \times 0.300 \times 1.000 &= 0.05 \text{ m}^3 \\
 \hline
 \Sigma V &= 0.75 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

$$W = 0.75 \times 2.350 \text{ t/m}^3 = 1.8 \text{ t}$$

⑤ N=1本 (無筋構造物)

$$\begin{aligned}
 V10 &= (0.884 + 1.068) \times 1/2 \times 1.000 && \times (0.482 + 1.290) \times 1/2 &= 0.86 \text{ m}^3 \\
 V11 &= (0.254 + 0.427) \times 1/2 \times 0.300 \times 0.425 &= 0.04 \text{ m}^3 \\
 \hline
 \Sigma V &= 0.90 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

$$W = 0.90 \times 2.350 \text{ t/m}^3 = 2.1 \text{ t}$$

⑥ N=2本 (無筋構造物)

$$V12 = (0.884 + 1.068) \times 1/2 \times 1.000 \times 2.000 = 1.95 \text{ m}^3$$

$$W = 1.95 \times 2.350 \text{ t/m}^3 = 4.6 \text{ t}$$

⑦ N=1本 (無筋構造物)

$$V13 = (0.884 + 1.068) \times 1/2 \times 1.000 \times (1.291 + 0.483) \times 1/2 = 0.87 \text{ m}^3$$

$$V14 = (0.081 + 0.254) \times 1/2 \times 0.300 \times 0.425 = 0.02 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 0.89 \text{ m}^3$$

$$W = 0.89 \times 2.350 \text{ t/m}^3 = 2.1 \text{ t}$$

⑧ N=1本 (無筋構造物)

$$V15 = (1.068 + 1.253) \times 1/2 \times 1.000 \times (0.482 + 1.290) \times 1/2 = 1.03 \text{ m}^3$$

$$W = 1.03 \times 2.350 \text{ t/m}^3 = 2.4 \text{ t}$$

⑨ N=2本 (無筋構造物)

$$V16 = (1.068 + 1.253) \times 1/2 \times 1.000 \times 2.000 = 2.32 \text{ m}^3$$

$$W = 2.32 \times 2.350 \text{ t/m}^3 = 5.5 \text{ t}$$

⑩ N=1本 (無筋構造物)

$$V17 = (1.068 + 1.253) \times 1/2 \times 1.000 \times (1.291 + 0.483) \times 1/2 = 1.03 \text{ m}^3$$

$$W = 1.03 \times 2.350 \text{ t/m}^3 = 2.4 \text{ t}$$

⑪ N=1本 (無筋構造物)

$$V18 = (1.253 + 1.400) \times 1/2 \times 0.800 \times (0.482 + 1.290) \times 1/2 = 0.94 \text{ m}^3$$

$$W = 0.94 \times 2.350 \text{ t/m}^3 = 2.2 \text{ t}$$

⑫ N=2本 (無筋構造物)

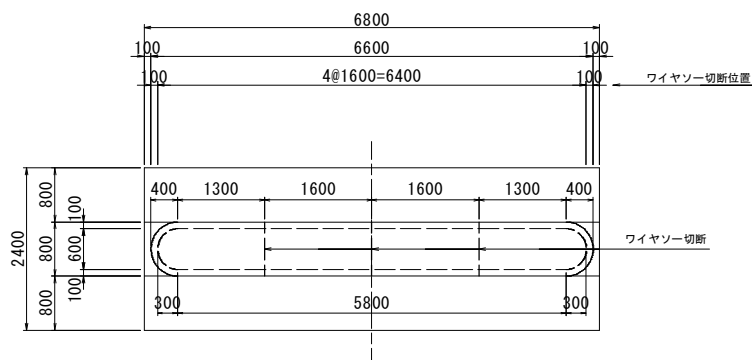
$$V19 = (1.253 + 1.400) \times 1/2 \times 0.800 \times 2.000 = 2.12 \text{ m}^3$$

$$W = 2.12 \times 2.350 \text{ t/m}^3 = 5.0 \text{ t}$$

$$V_{20} = (1.253 + 1.400) \times 1/2 \times 0.800 \times (1.291 + 0.483) \times 1/2 = 0.94 \text{ m}^3$$

$$V_{21} = 1.924 \times 2.300 \times 0.500 = 2.21 \text{ m}^3$$

$$V_{22} = 1.924 \times 2.300 \times 0.300 = 1.33 \text{ m}^3$$



① N=2本 (鉄筋構造物)

$$\begin{aligned} V1 &= 0.800^2 \times \pi/4 \times 1/2 \times 0.500 &= 0.13 \text{ m}^3 \\ V2 &= \{ (0.800 + 0.600) \times 1/2 \}^2 \times \pi/4 \times 1/2 \times 0.250 &= 0.05 \text{ m}^3 \\ V3 &= 0.600^2 \times \pi/4 \times 1/2 \times 0.750 &= 0.11 \text{ m}^3 \\ V4 &= 0.800 \times 0.500 \times 1.300 &= 0.52 \text{ m}^3 \\ V5 &= (0.800 + 0.600) \times 1/2 \times 0.250 \times 1.300 &= 0.23 \text{ m}^3 \\ V6 &= 0.600 \times 0.750 \times 1.300 &= 0.59 \text{ m}^3 \\ \hline \Sigma V &= 1.63 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

$$W = 1.63 \times 2.500 \text{ t/m}^3 = 4.1 \text{ t}$$

② N=2本 (鉄筋構造物)

$$\begin{aligned} V7 &= 0.800 \times 0.500 \times 1.600 &= 0.64 \text{ m}^3 \\ V8 &= (0.800 + 0.600) \times 1/2 \times 0.250 \times 1.600 &= 0.28 \text{ m}^3 \\ V9 &= 0.600 \times 0.750 \times 1.600 &= 0.72 \text{ m}^3 \\ \hline \Sigma V &= 1.64 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

$$W = 1.64 \times 2.500 \text{ t/m}^3 = 4.1 \text{ t}$$

③ N=2本 (鉄筋構造物)

$$\begin{aligned} V10 &= 0.600^2 \times \pi/4 \times 1/2 \times 1.800 &= 0.25 \text{ m}^3 \\ V11 &= 0.600 \times 1.800 \times 1.300 &= 1.40 \text{ m}^3 \\ \hline \Sigma V &= 1.65 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

$$W = 1.65 \times 2.500 \text{ t/m}^3 = 4.1 \text{ t}$$

④ N=2本 (鉄筋構造物)

$$V12 = 0.600 \times 1.800 \times 1.600 = 1.73 \text{ m}^3$$

$$W = 1.73 \times 2.500 \text{ t/m}^3 = 4.3 \text{ t}$$

⑤ N=4本 (鉄筋構造物)

$$\begin{aligned} V13 &= (0.800 + 2.400) \times 1/2 \times 0.400 \times 1.700 &= 1.09 \text{ m}^3 \\ V14 &= 2.400 \times 0.300 \times 1.700 &= 1.22 \text{ m}^3 \\ \hline \Sigma V &= 2.31 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

$$W = 2.31 \times 2.500 \text{ t/m}^3 = 5.8 \text{ t}$$

⑥ N=4本 (鉄筋構造物)

$$V15 = 2.400 \times 0.300 \times 1.700 = 1.22 \text{ m}^3$$

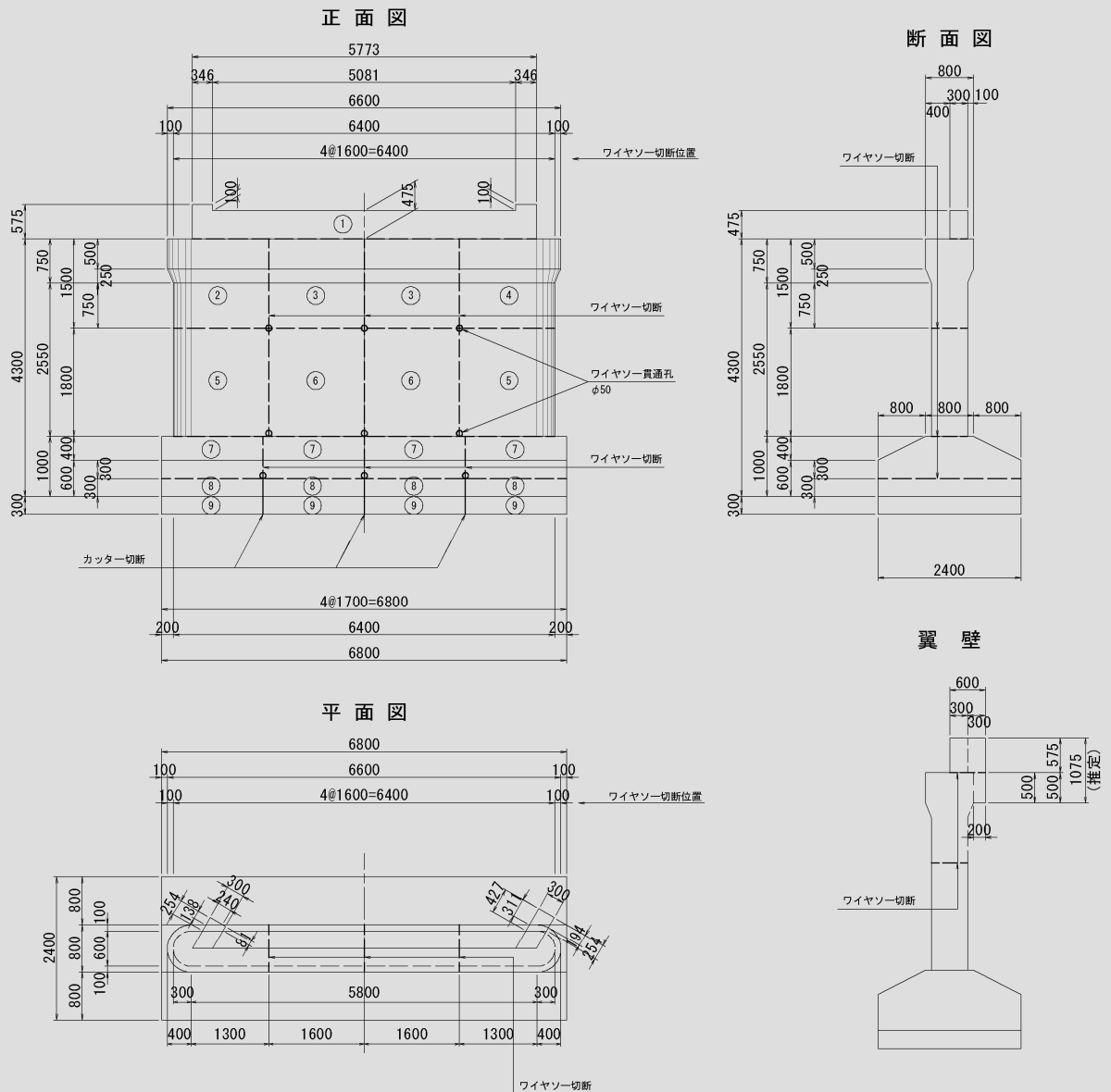
$$W = 1.22 \times 2.500 \text{ t/m}^3 = 3.1 \text{ t}$$

⑦ N=4本 (無筋構造物)

$$V16 = 2.400 \times 0.300 \times 1.700 = 1.22 \text{ m}^3$$

$$W = 1.22 \times 2.350 \text{ t/m}^3 = 2.9 \text{ t}$$

3) A2橋台



① N=1本 (鉄筋構造物)

$$V1 = 0.300 \times 0.346 \times 0.100 \times 2 = 0.02 \text{ m}^3$$

$$V2 = 0.300 \times 0.475 \times 5.773 = 0.82 \text{ m}^3$$

$$V3 = (0.254 + 0.081) \times 1/2 \times 0.300 \times 0.575 = 0.03 \text{ m}^3$$

$$V4 = (0.427 + 0.254) \times 1/2 \times 0.300 \times 0.575 = 0.06 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 0.93 \text{ m}^3$$

$$W = 0.93 \times 2.500 \text{ t/m}^3 = 2.3 \text{ t}$$

② N=1本 (鉄筋構造物)

$$\begin{aligned}
 V5 &= 0.800^2 \times \pi/4 \times 1/2 \times 0.500 &= 0.13 \text{ m}^3 \\
 V6 &= \{(0.800 + 0.600) \times 1/2\}^2 \times \pi/4 \times 1/2 \times 0.250 &= 0.05 \text{ m}^3 \\
 V7 &= 0.600^2 \times \pi/4 \times 1/2 \times 0.750 &= 0.11 \text{ m}^3 \\
 V8 &= 0.800 \times 0.500 \times 1.300 &= 0.52 \text{ m}^3 \\
 V9 &= (0.800 + 0.600) \times 1/2 \times 0.250 \times 1.300 &= 0.23 \text{ m}^3 \\
 V10 &= 0.600 \times 0.750 \times 1.300 &= 0.59 \text{ m}^3 \\
 V11 &= 0.138 \times 0.240 \times 1/2 \times 0.500 &= 0.01 \text{ m}^3 \\
 \hline
 \Sigma V &= 1.64 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

$$W = 1.64 \times 2.500 \text{ t/m}^3 = 4.1 \text{ t}$$

③ N=2本 (鉄筋構造物)

$$\begin{aligned}
 V12 &= 0.800 \times 0.500 \times 1.600 &= 0.64 \text{ m}^3 \\
 V13 &= (0.800 + 0.600) \times 1/2 \times 0.250 \times 1.600 &= 0.28 \text{ m}^3 \\
 V14 &= 0.600 \times 0.750 \times 1.600 &= 0.72 \text{ m}^3 \\
 \hline
 \Sigma V &= 1.64 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

$$W = 1.64 \times 2.500 \text{ t/m}^3 = 4.1 \text{ t}$$

④ N=1本 (鉄筋構造物)

$$\begin{aligned}
 V15 &= 0.800^2 \times \pi/4 \times 1/2 \times 0.500 &= 0.13 \text{ m}^3 \\
 V16 &= \{(0.800 + 0.600) \times 1/2\}^2 \times \pi/4 \times 1/2 \times 0.250 &= 0.05 \text{ m}^3 \\
 V17 &= 0.600^2 \times \pi/4 \times 1/2 \times 0.750 &= 0.11 \text{ m}^3 \\
 V18 &= 0.800 \times 0.500 \times 1.300 &= 0.52 \text{ m}^3 \\
 V19 &= (0.800 + 0.600) \times 1/2 \times 0.250 \times 1.300 &= 0.23 \text{ m}^3 \\
 V20 &= 0.600 \times 0.750 \times 1.300 &= 0.59 \text{ m}^3 \\
 V21 &= (0.311 + 0.194) \times 1/2 \times 0.300 \times 0.500 &= 0.04 \text{ m}^3 \\
 \hline
 \Sigma V &= 1.67 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

$$W = 1.67 \times 2.500 \text{ t/m}^3 = 4.2 \text{ t}$$

⑤ N=2本 (鉄筋構造物)

$$\begin{aligned}
 V22 &= 0.600^2 \times \pi/4 \times 1/2 \times 1.800 &= 0.25 \text{ m}^3 \\
 V23 &= 0.600 \times 1.800 \times 1.300 &= 1.40 \text{ m}^3 \\
 \hline
 \Sigma V &= 1.65 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

$$W = 1.65 \times 2.500 \text{ t/m}^3 = 4.1 \text{ t}$$

⑥ N=2本 (鉄筋構造物)

$$V24 = 0.600 \times 1.800 \times 1.600 = 1.73 \text{ m}^3$$

$$W = 1.73 \times 2.500 \text{ t/m}^3 = 4.3 \text{ t}$$

⑦ N=4本 (鉄筋構造物)

$$\begin{aligned} V_{25} &= (0.800 + 2.400) \times 1/2 \times 0.400 \times 1.700 &= 1.09 \text{ m}^3 \\ V_{26} &= 2.400 \times 0.300 \times 1.700 &= 1.22 \text{ m}^3 \\ \hline \Sigma V &= 2.31 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

$$W = 2.31 \times 2.500 \text{ t/m}^3 = 5.8 \text{ t}$$

⑧ N=4本 (鉄筋構造物)

$$V_{27} = 2.400 \times 0.300 \times 1.700 = 1.22 \text{ m}^3$$

$$W = 1.22 \times 2.500 \text{ t/m}^3 = 3.1 \text{ t}$$

⑨ N=4本 (無筋構造物)

$$V_{28} = 2.400 \times 0.300 \times 1.700 = 1.22 \text{ m}^3$$

$$W = 1.22 \times 2.350 \text{ t/m}^3 = 2.9 \text{ t}$$

(2) コンクリート取壊し(鉄筋構造物)

1) A1橋台

$$V_1 = \textcircled{1} = 0.93 \text{ m}^3$$

2) P1橋脚

$$\begin{aligned} V_2 &= \textcircled{1} + \textcircled{2} + \textcircled{3} + \textcircled{4} + \textcircled{5} + \textcircled{6} \\ &= 1.63 \times 2 + 1.64 \times 2 + 1.65 \times 2 + 1.73 \times 2 \\ &\quad + 2.31 \times 4 + 1.22 \times 4 = 27.42 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

3) A2橋台

$$\begin{aligned} V_3 &= \textcircled{1} + \textcircled{2} + \textcircled{3} + \textcircled{4} + \textcircled{5} + \textcircled{6} + \textcircled{7} + \textcircled{8} \\ &= 0.93 + 1.64 + 1.64 \times 2 + 1.67 + 1.65 \times 2 \\ &\quad + 1.73 \times 2 + 2.31 \times 4 + 1.22 \times 4 = 28.40 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

$$\Sigma V = 0.93 + 27.42 + 28.40 = 56.75 \text{ m}^3$$

(3) コンクリート取壊し(無筋構造物)

1) A1橋台

$$\begin{aligned} V_1 &= \textcircled{2} + \textcircled{3} + \textcircled{4} + \textcircled{5} + \textcircled{6} + \textcircled{7} + \textcircled{8} + \textcircled{9} + \textcircled{10} + \textcircled{11} + \textcircled{12} + \textcircled{13} + \textcircled{14} + \textcircled{15} \\ &= 0.80 + 1.58 \times 2 + 0.75 + 0.90 + 1.95 \times 2 \\ &\quad + 0.89 + 1.03 + 2.32 \times 2 + 1.03 + 0.94 \\ &\quad + 2.12 \times 2 + 0.94 + 2.21 \times 3 + 1.33 \times 3 = 33.84 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

2) P1橋脚

$$\begin{aligned} V_2 &= \textcircled{7} \\ &= 1.22 \times 4 = 4.88 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

3)A2橋台

$$V3 = \textcircled{9}$$

$$= 1.22 \times 4 = 4.88 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 33.84 + 4.88 + 4.88 = 43.60 \text{ m}^3$$

(4) 殻処理（鉄筋コンクリート殻）

1)A1橋台

$$W1 = 0.93 \times 2.500 \text{ t/m}^3 = 2.3 \text{ t}$$

2)P1橋脚

$$V2 = \textcircled{1} + \textcircled{2} + \textcircled{3} + \textcircled{4} + \textcircled{5} + \textcircled{6}$$

$$= 1.63 \times 2 + 1.64 \times 2 + \frac{1.65}{2.31} \times \frac{2}{4} + \frac{1.73}{1.22} \times \frac{2}{4} = 27.42 \text{ m}^3$$

3)A2橋台

$$W3 = 28.40 \times 2.500 \text{ t/m}^3 = 71.0 \text{ t}$$

$$\Sigma W = 2.3 + 68.6 + 71.0 = 141.9 \text{ t}$$

(5) 殻処理（無筋コンクリート殻）

1)A1橋台

$$W1 = 33.84 \times 2.350 \text{ t/m}^3 = 79.5 \text{ t}$$

2)P1橋脚

$$V2 = \textcircled{7}$$

$$= 1.22 \times 4$$

$$= 4.88 \text{ m}^3$$

3)A2橋台

$$W3 = 4.88 \times 2.350 \text{ t/m}^3 = 11.5 \text{ t}$$

$$\Sigma W = 79.5 + 11.5 + 11.5 = 102.5 \text{ t}$$

(6) ワイヤソーイング切断工

1)A1橋台

$$A1 = (0.300 + 0.884 + 1.068 + 1.253 + 1.400) \times 5.773 = 28.32 \text{ m}^2$$

$$A2 = (0.700 + 1.400) \times 1/2 \times 5.773 \times 3 = 18.18 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 46.50 \text{ m}^2$$

2)P1橋脚

$$\begin{aligned}
 A3 &= (0.600 \times 5.800 + 0.600^2 \times \pi/4) \times 2 &= 7.53 \text{ m}^2 \\
 A4 &= 2.400 \times 6.800 &= 16.32 \text{ m}^2 \\
 A5 &= \{ 0.800 \times 0.500 + (0.800 + 0.600) \times 1/2 \times 0.250 \\
 &\quad + 0.600 \times 2.550 \} \times 3 &= 6.32 \text{ m}^2 \\
 A6 &= \{ (0.800 + 2.400) \times 1/2 \times 0.400 \\
 &\quad + 2.400 \times 0.300 \} \times 3 &= 4.08 \text{ m}^2 \\
 \Sigma A &= 34.25 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

3)A2橋台

$$\begin{aligned}
 A7 &= 0.300 \times 5.773 &= 1.73 \text{ m}^2 \\
 A8 &= (0.600 \times 5.800 + 0.600^2 \times \pi/4) \times 2 &= 7.53 \text{ m}^2 \\
 A9 &= 2.400 \times 6.800 &= 16.32 \text{ m}^2 \\
 A10 &= \{ 0.800 \times 0.500 + (0.800 + 0.600) \times 1/2 \times 0.250 \\
 &\quad + 0.600 \times 2.550 \} \times 3 &= 6.32 \text{ m}^2 \\
 A11 &= \{ (0.800 + 2.400) \times 1/2 \times 0.400 \\
 &\quad + 2.400 \times 0.300 \} \times 3 &= 4.08 \text{ m}^2 \\
 \Sigma A &= 35.98 \text{ m}^2 \\
 \Sigma A &= 46.50 + 34.25 + 35.98 &= 116.73 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

(7) ワイヤソー貫通孔(コアボーリングφ50)

1)A1橋台

$$L1 = (0.884 + 1.068 + 1.253 + 1.400) \times 3 = 13.815 \text{ m}$$

2)P1橋脚

$$L2 = (0.600 + 0.600 + 2.400) \times 3 = 10.800 \text{ m}$$

3)A2橋台

$$L3 = (0.600 + 0.600 + 2.400) \times 3 = 10.800 \text{ m}$$

$$\Sigma L = 13.815 + 10.800 + 10.800 = 35.42 \text{ m}$$

(8) 油圧式静的破壊工

A1橋台

$$L = 2.656 \times 2 = 5.312 \text{ m}$$

(9) 油圧シリンダ挿入孔(φ200)

A1橋台

$$L = 0.500 \times 6 = 3.000 \text{ m}$$

(10) カッター切断工(切断深さ30cm)

1)A1橋台

$$L1 = 2.656 \times 2 = 5.312 \text{ m}$$

2)P1橋脚

$$L2 = 2.400 \times 6 = 14.400 \text{ m}$$

3)A2橋台

$$L3 = 2.400 \times 6 = 14.400 \text{ m}$$

$$\Sigma L = 5.312 + 14.400 + 14.400 = 34.11 \text{ m}$$

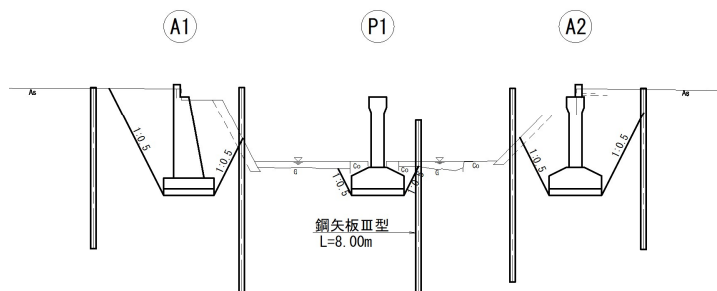
構造物撤去工

根固めブロック撤去

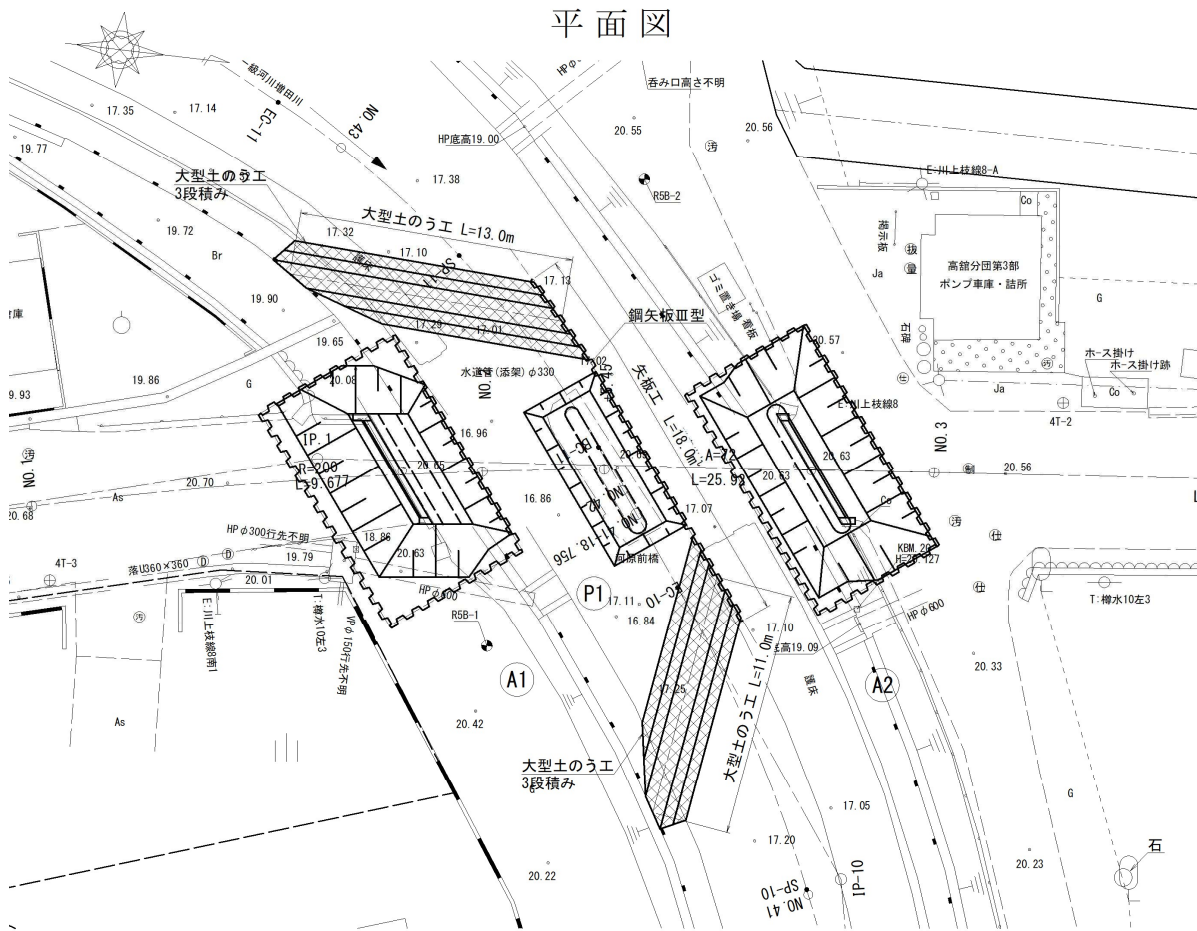
$$N = 22 \qquad 22.0 \text{ 個}$$

§ 5. 仮設工

側面図



平面図



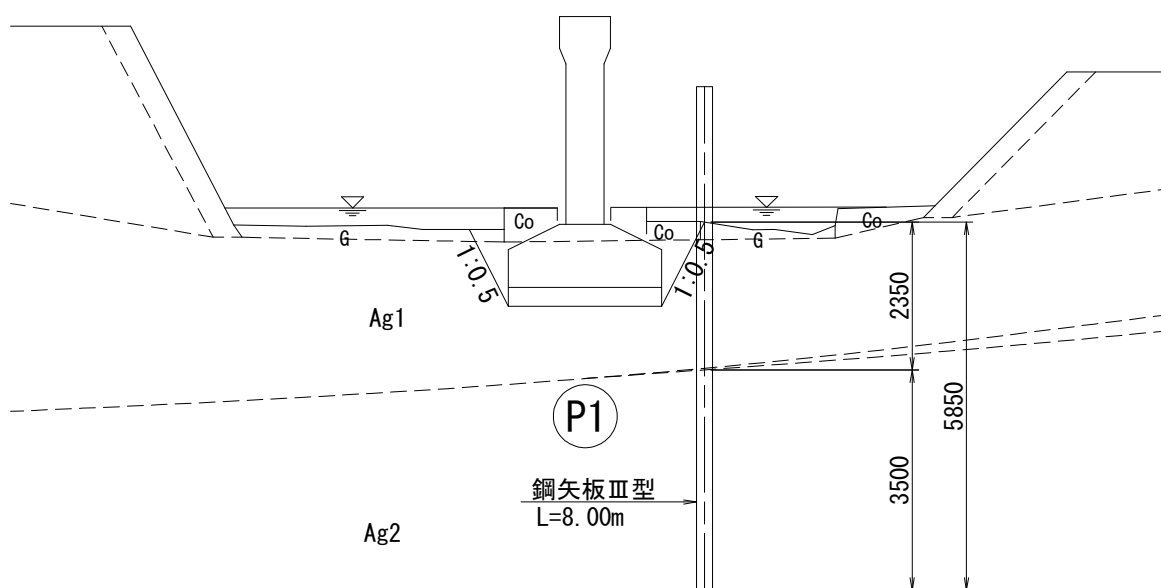
(1) 矢板工

[illegible]

(2) 打込み長および加重平均N値

地層記号	Ag1	Ag2	計	平均N値
土 質	沖積第1礫質土	沖積第2礫質土	－	31.6
N 値	22	38	－	
層厚L (m)	2.350	3.500	5.850	
N×L	51.70	133.00	184.70	

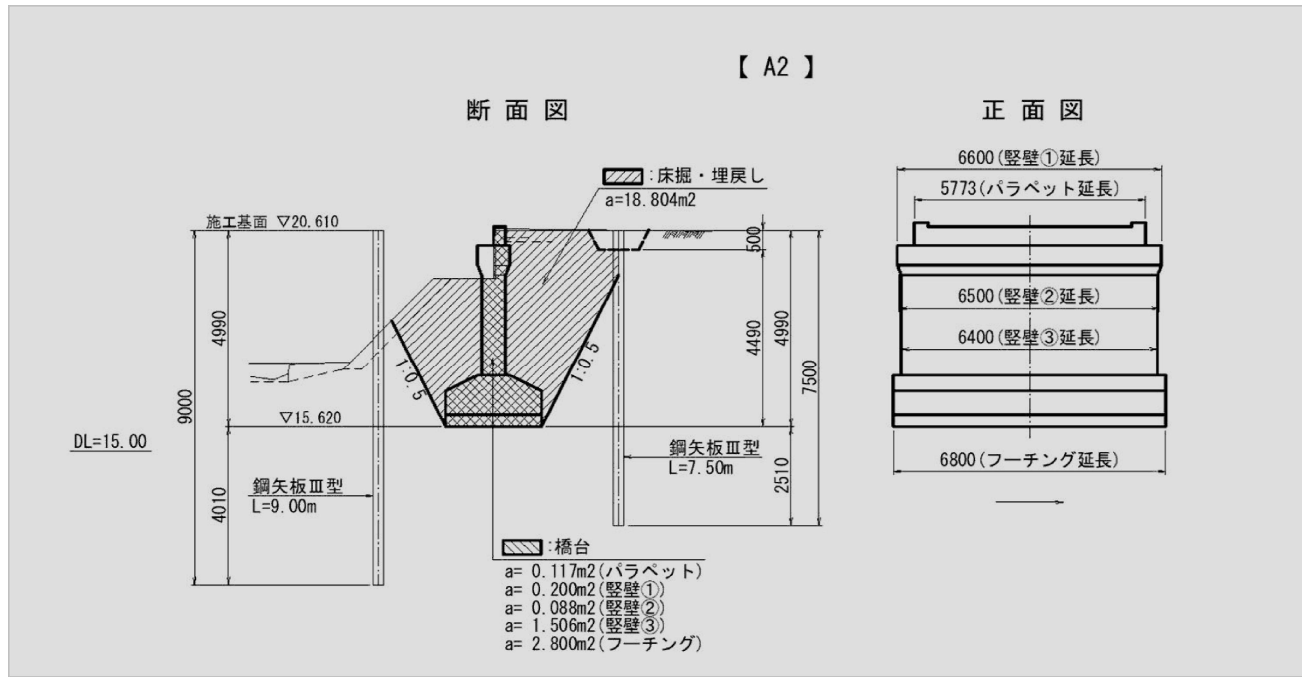
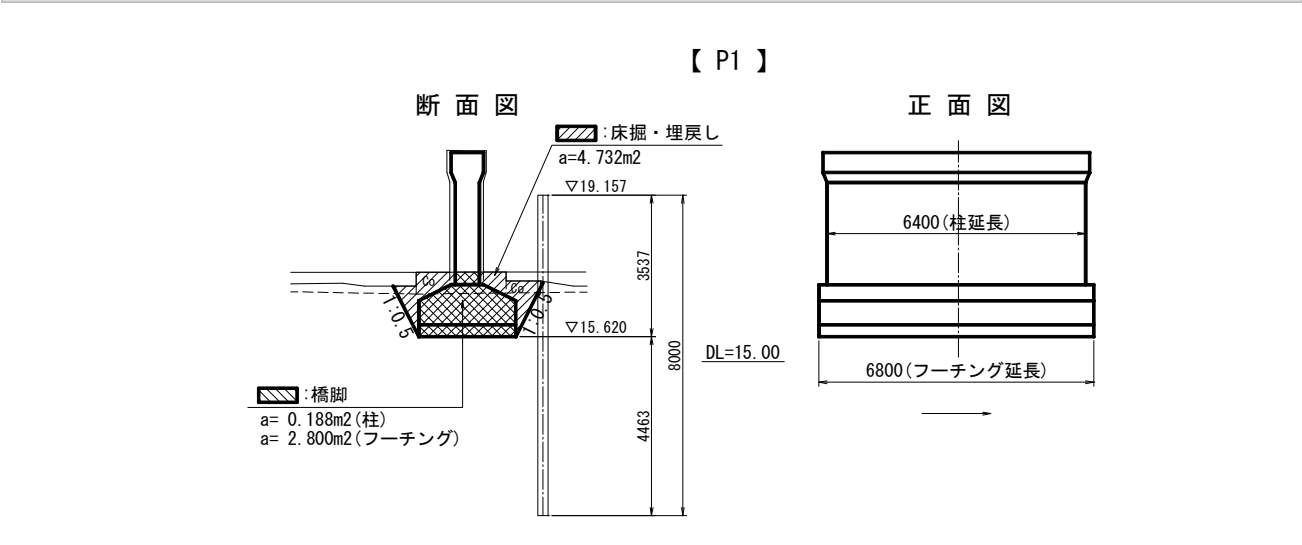
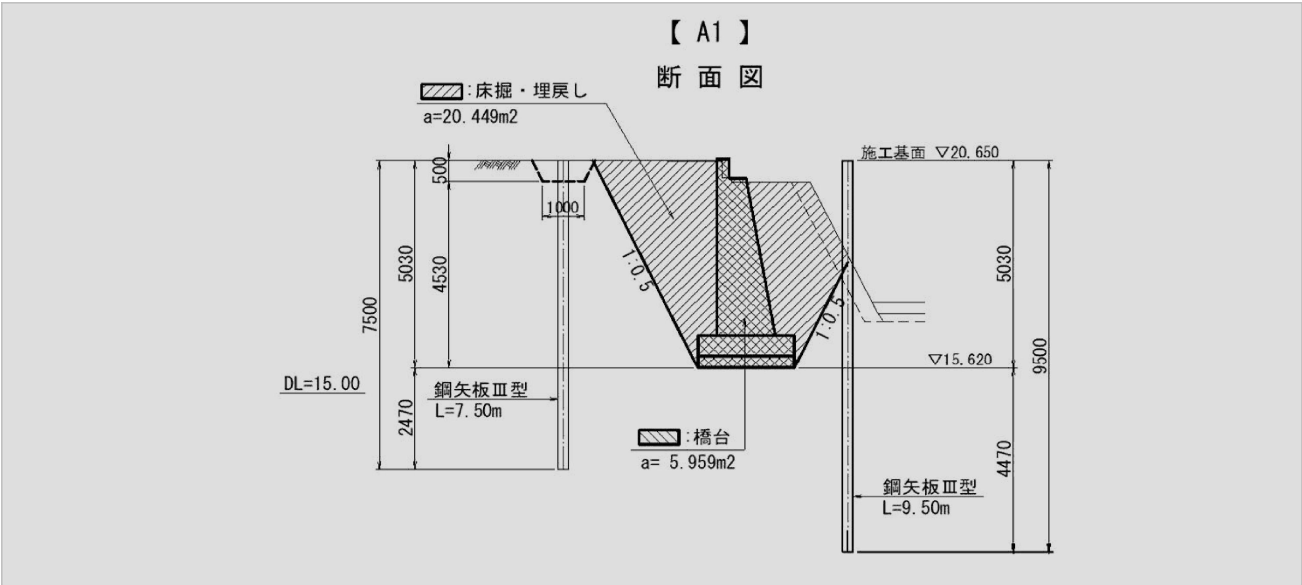
- ・打込み長 $L = 5.85 \text{ m}$
- ・加重平均N値 $N = 32$



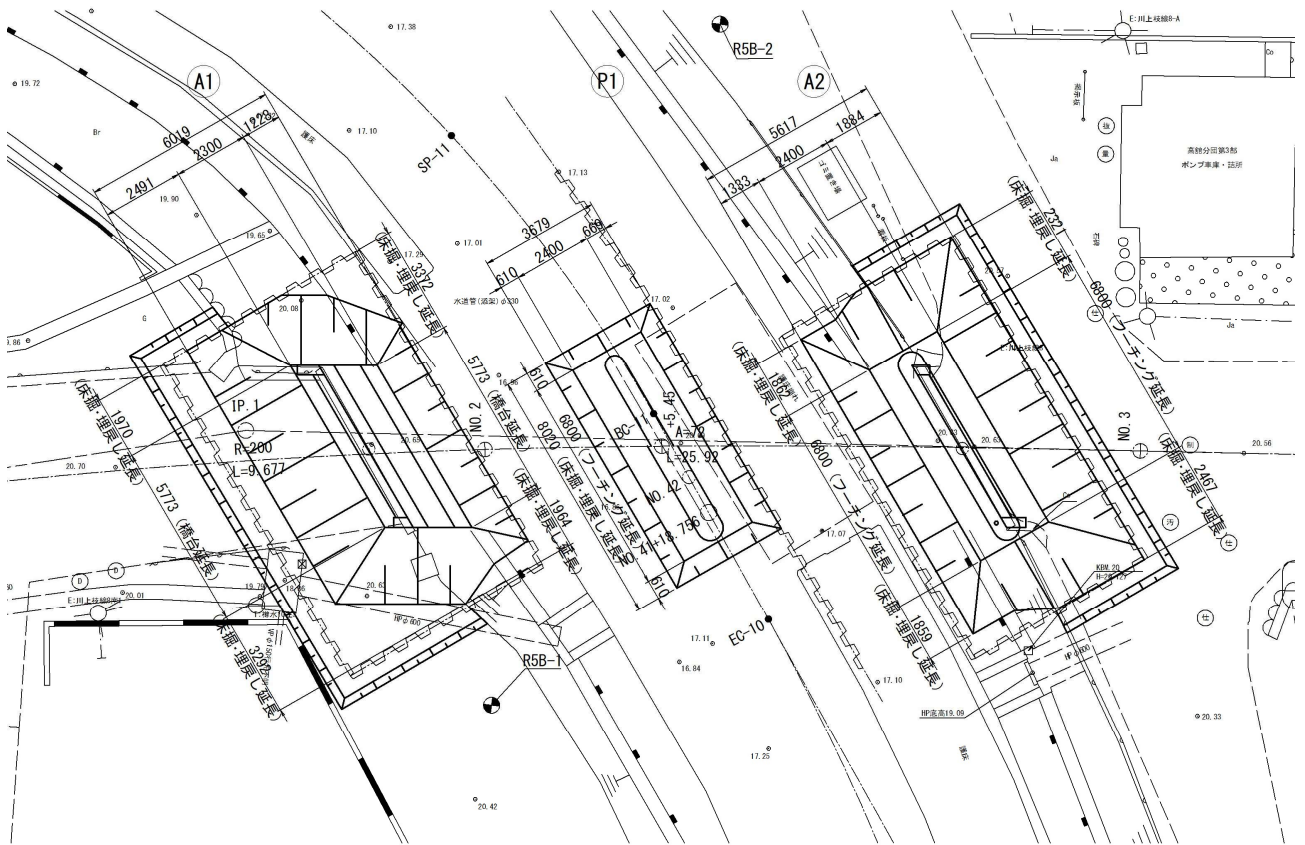
(3) 大型土のう工

N1 =	1.000	×	13.000	/ (	1.080	×	1.100	)	×	6	=	66	袋
N2 =	1.000	×	11.000	/ (	1.080	×	1.100	)	×	6	=	56	袋
											$\Sigma N =$	122	袋

§ 6. 土 工



平面図



(1) 床掘 (土砂)

1) A1橋台

$$\begin{aligned}
 V1 &= (3.372 + 1.970) \times \frac{1}{2} \times 20.449 \text{ m}^2 \times \frac{1}{2} &= 27.31 \text{ m}^3 \\
 V2 &= 5.733 \times 20.449 \text{ m}^2 &= 117.23 \text{ m}^3 \\
 -V3 &= 5.733 \times 5.959 \text{ m}^2 &= -34.16 \text{ m}^3 \\
 & &= 83.07 \text{ m}^3 \\
 V4 &= (1.964 + 3.292) \times \frac{1}{2} \times 20.449 \text{ m}^2 \times \frac{1}{2} &= 26.87 \text{ m}^3 \\
 V1 &= 27.31 + 83.07 + 26.87 &= 137.25 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

2) P1橋脚

$$V = (8.020 + 6.800) \times \frac{1}{2} \times 4.732 \text{ m}^2 = 35.06 \text{ m}^3$$

《控除数量》

$$\begin{aligned}
 \text{柱 } v1 &= 6.400 \times 0.188 \text{ m}^2 &= 1.20 \text{ m}^3 \\
 \text{フーチング } v2 &= 6.800 \times 2.800 \text{ m}^2 &= 19.04 \text{ m}^3 \\
 & &= 20.24 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

$$V2 = 35.06 - 20.24 = 14.82 \text{ m}^3$$

3) A2橋台

$$V1 = (1.862 + 2.321) \times 1/2 \times 18.804 \text{ m}^2 \times 1/2 = 19.66 \text{ m}^3$$

$$V2 = 6.800 \times 18.804 \text{ m}^2 = 127.87 \text{ m}^3$$

$$V3 = (1.859 + 2.467) \times 1/2 \times 18.804 \text{ m}^2 \times 1/2 = 20.34 \text{ m}^3$$

《控除数量》

$$\text{ハﾟﾗﾟｯﾄ v1} = 5.773 \times 0.117 \text{ m}^2 = 0.68 \text{ m}^3$$

$$\text{豎 壁① v2} = 6.600 \times 0.200 \text{ m}^2 = 1.32 \text{ m}^3$$

$$\text{豎 壁② v3} = (6.600 + 6.400) \times 1/2 \times 0.088 \text{ m}^2 = 0.57 \text{ m}^3$$

$$\text{豎 壁③ v4} = 6.400 \times 1.506 \text{ m}^2 = 9.64 \text{ m}^3$$

$$\text{フﾟｰﾁﾝｸﾞ v5} = 6.800 \times 2.800 \text{ m}^2 = 19.04 \text{ m}^3$$

$$= 31.25 \text{ m}^3$$

$$V3 = 19.66 + 127.87 + 20.34 - 31.25 = 136.62 \text{ m}^3$$

4) 床掘合計

$$\Sigma V = 137.25 + 14.82 + 136.62 = 288.69 \text{ m}^3$$

(2) 埋戻し (C)

1) A1橋台

$$\text{橋台 } V = 5.733 \times 5.921 \text{ m}^2 = 33.95 \text{ m}^3$$

$$V1 = 137.25 + 33.95 = 171.20 \text{ m}^3$$

2) A2橋台

$$V = 31.25 = 31.25 \text{ m}^3$$

(土工, A2橋台床掘控除数量, 前述数式参照)

$$V3 = 136.62 + 31.25 = 167.87 \text{ m}^3$$

3) 埋戻し合計

$$\Sigma V = 171.20 + 167.87 = 339.07 \text{ m}^3$$

(3) 不足土

1) A1橋台

$$\text{(土砂)} \quad V1 = 137.25 - 171.20 \div 0.9 = -52.97 \text{ m}^3$$

2) P1橋脚

$$\text{(土砂)} \quad V2 = 14.82 - 0.00 \div 0.9 = 14.82 \text{ m}^3$$

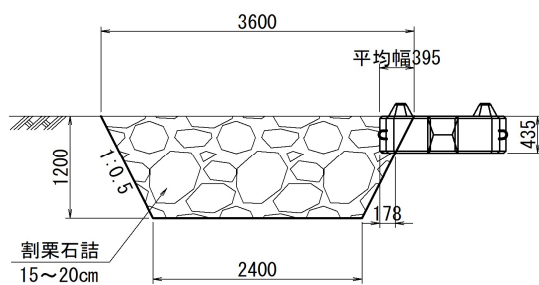
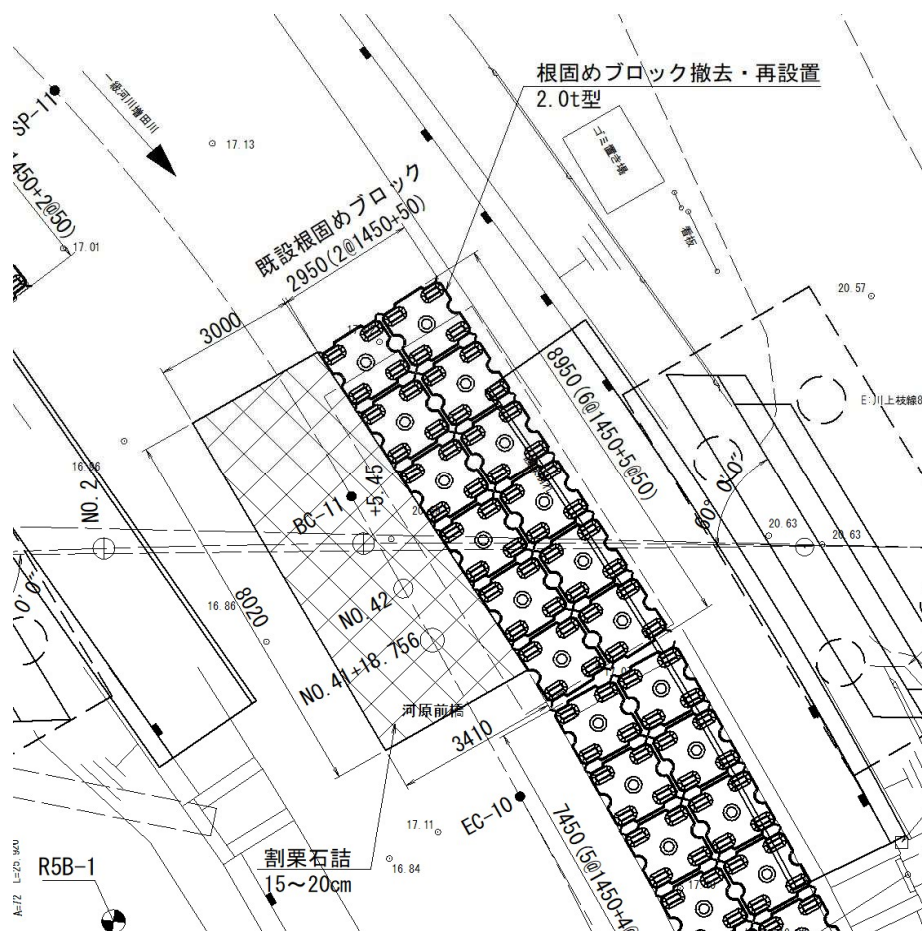
3) A2橋台

$$\text{(土砂)} \quad V3 = 136.62 - 167.87 \div 0.9 = -49.90 \text{ m}^3$$

4) 不足土合計

$$\Sigma V = -52.97 + 14.82 + -49.90 = -88.05 \text{ m}^3$$

§ 7. 根固め工



(1) 割栗石詰 (15~20cm)

$$V1 = (3.600 + 2.400) \times \frac{1}{2} \times 1.200 \times 8.020$$

$$= 28.87 \text{ m}^3$$

$$-V2 = (0.395 + 0.178) \times \frac{1}{2} \times 0.435 \times 8.020$$

$$= -1.00 \text{ m}^3$$

$$= 27.87 \text{ m}^3$$

【 河原前橋 】

仮設工数量計算書

(作業ヤード造成、切廻し道路)

§ 1. 数 量 総 括 表

数 量 総 括 表

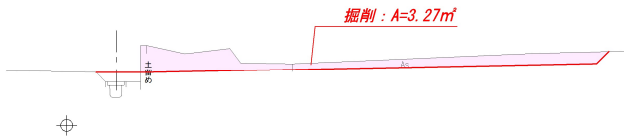
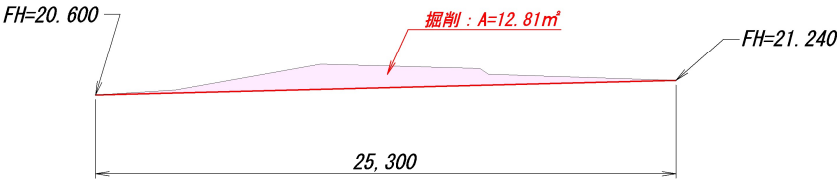
1 / 1

工 種 (レベル2)	種 別 (レベル3)	細 別 (レベル4)	規 格 (レベル5)	単位	数 量	設計値	備 考
道路土工	掘 削 工	機械掘削(土砂)	C1	流用可	m ³	139.3	P.4
	盛 土 工	路床盛土	B1	流用土	m ³	29.3	P.4
		路肩盛土	B2	流用土	m ³	27.3	P.4
	残土処理工	残土処理		m ³	80.6		P.4
					盛土への流用は、良質発生土とし、残土は借地復旧のため、現場内ストックとする		
排水構造物工	作業土工	床 掘 り	C2	流用可	m ³	4.2	P.4
	側 溝 工	プレキャストU型側溝	グレーチング落蓋側溝 250	参考重量 172kg	m	6.0	P.9
舗 装 工	アスファルト舗装工	切廻し道路	表 層 工	再生密粒度As20F t=5cm	m ²	226.2	P.13
			上層路盤工	再生As安定処理 t=6cm	m ²	231.8	P.13
			下層路盤工	RC-40 t=13cm	m ²	237.3	P.13
			土木安定シート	PP系織布	m ²	211.1	P.13
		付替え道路	表 層 工	再生密粒度As20F t=5cm	m ²	165.6	P.13
			路 盤 工	RC-40 t=20cm	m ²	169.6	P.13
			土木安定シート	PP系織布	m ²	232.8	P.13
区 画 線 工	区 画 線 工	熔融式区画線	外側線 (実線、白色、W=15cm)	m	62.2		P.17
			減速マーク (実線、白色、W=15cm換算)	m	32.0		P.17
構造物撤去工	構造物取壊し工	舗装版切断	アスファルト舗装 t≤15cm	m	13.0		P.20
		コンクリート構造物取壊し	鉄筋コンクリート	m ³	9.2		P.20
		舗装版破碎	アスファルト舗装 t≤15cm	m ²	147.0		P.20
	運搬処理工	殻運搬処理	鉄筋コンクリート	m ³	9.2		P.20
			アスファルト	m ³	13.5		P.20

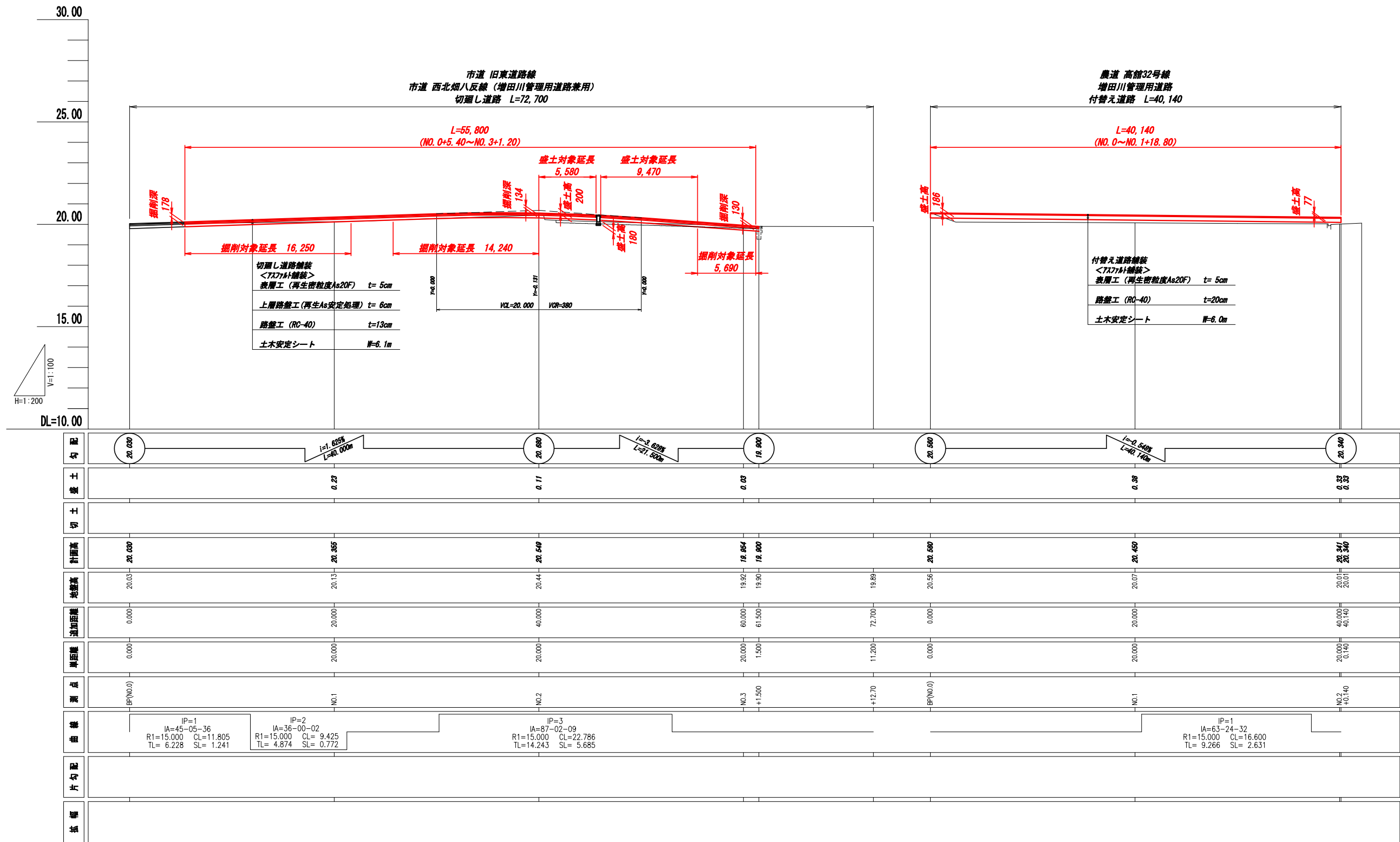
§ 2. 道 路 土 工

道路土工数量集計表

種 別	細 別	規 格	単位	切廻し道路	付替え道路	敷地造成 作業ヤード	乗入れ	合 計	備 考
掘 削 工	機械掘削 (土砂)	C1 流用可	m ³	11.6		82.9	44.8	139.3	
盛 土 工	路床盛土	B1 流用土	m ³	8.3	21.0			29.3	
	路肩盛土	B2 流用土	m ³	11.2	16.1			27.3	
作業土工	機械床掘 (土砂)	C2 流用可	m ³	4.2				4.2	
									盛土への流用は、良質発生土とし、残土は 借地復旧のため、現場内ストックとする
切 土	流用土		m ³	C1 ～ C2				143.5	
盛 土	流用土		m ³	B1 ～ B2				56.6	
流用土の計算	流用土		m ³	V=143.5(C1～C2)-56.6(B1～B2)÷0.9=80.6				80.6	
残土処理工	残土処理		m ³					80.6	

種 別	算 式	数 量
1. 機械掘削 (土砂)	○切廻し道路 縦断面図より	
	$V1 = \begin{matrix} 0.178 \\ \text{(掘削深)} \end{matrix} \times \begin{matrix} 1/2 \\ \text{(平均)} \end{matrix} \times \begin{matrix} 16.25 \\ \text{(対象延長)} \end{matrix} \times \begin{matrix} 4.20 \\ \text{(掘削幅)} \end{matrix} = 6.07 \text{ m}^3$	
	$V2 = \begin{matrix} 0.134 \\ \text{(掘削深)} \end{matrix} \times \begin{matrix} 1/2 \\ \text{(平均)} \end{matrix} \times \begin{matrix} 14.24 \\ \text{(対象延長)} \end{matrix} \times \begin{matrix} 4.20 \\ \text{(掘削幅)} \end{matrix} = 4.01 \text{ m}^3$	
	$V3 = \begin{matrix} 0.130 \\ \text{(掘削深)} \end{matrix} \times \begin{matrix} 1/2 \\ \text{(平均)} \end{matrix} \times \begin{matrix} 5.69 \\ \text{(対象延長)} \end{matrix} \times \begin{matrix} 4.20 \\ \text{(掘削幅)} \end{matrix} = 1.55 \text{ m}^3$	
	$\Sigma V =$	11.6 m ³
	○敷地造成(作業ヤード)	
	$V1 = \begin{matrix} 3.27 \\ \text{(単位数量)} \end{matrix} \times \begin{matrix} 25.35 \\ \text{(平均敷地幅)} \end{matrix} =$	82.9 m ³
		
	○敷地造成(乗入れ付替え)	
	$V1 = \begin{matrix} 12.81 \\ \text{(単位数量)} \end{matrix} \times \begin{matrix} 3.50 \\ \text{(幅員)} \end{matrix} =$	44.8 m ³
		
2. 路床盛土 (流用土)	○切廻し道路 縦断面図より	
	$V1 = \begin{matrix} 0.200 \\ \text{(平均盛土高)} \end{matrix} \times \begin{matrix} 5.58 \\ \text{(対象延長)} \end{matrix} \times \begin{matrix} 4.20 \\ \text{(盛土幅)} \end{matrix} = 4.69 \text{ m}^3$	
	$V2 = \begin{matrix} 0.090 \\ \text{(平均盛土高)} \end{matrix} \times \begin{matrix} 9.47 \\ \text{(対象延長)} \end{matrix} \times \begin{matrix} 4.20 \\ \text{(盛土幅)} \end{matrix} = 3.58 \text{ m}^3$	
	$\Sigma V =$	8.3 m ³
	○付替え道路 縦断面図より	
	$V1 = \begin{matrix} 0.131 \\ \text{(平均盛土高)} \end{matrix} \times \begin{matrix} 40.14 \\ \text{(対象延長)} \end{matrix} \times \begin{matrix} 4.00 \\ \text{(盛土幅)} \end{matrix} =$	21.0 m ³

種 別	算 式	数 量
3. 路肩盛土 (流用土)	○切廻し道路 $V1 = \underset{\text{(単位数量)}}{0.100} \times \underset{\text{(対象延長)}}{55.80} \times \underset{\text{(両側)}}{2} = 11.16 \text{ m}^3$ ○付替え道路 $V2 = \underset{\text{(単位数量)}}{0.200} \times \underset{\text{(対象延長)}}{40.14} \times \underset{\text{(両側)}}{2} = 16.06 \text{ m}^3$	
4. 機械床掘 (土砂)	○切廻し道路(素掘り側溝) $V1 = \underset{\text{(単位数量)}}{0.080} \times \underset{\text{(対象延長)}}{39.70} = 3.2 \text{ m}^3$ $V2 = \underset{\text{(単位数量)}}{0.080} \times \underset{\text{(対象延長)}}{12.54} = 1.0 \text{ m}^3$ $\Sigma V = 4.2 \text{ m}^3$	



()内は縮小版の縮尺を表す。

工事番号	号		
路線名	市道 西北畑八反線 農道 高館32号線		
箇所	名取市高館川上 地内		
工事名	令和 年度	工事	
図名	縦断面図(切廻し道路、付替え道路)		
縮尺	V=1:100(200) H=1:250(500)	位置	-
設計者	㈱地清建設企画	設計年度	令和 6 年度
名取市	図番	22	10

§ 3. 排 水 構 造 物 工

側溝工数量集計表

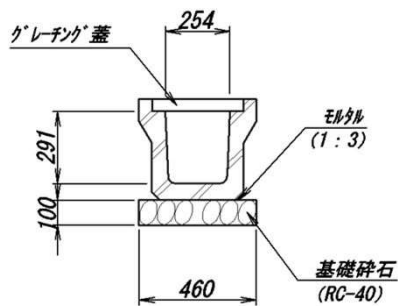
[illegible]

グレーチング落蓋側溝250 数量集計表(10m当り)

種 別		規 格	単位	数 量	備 考
本 体 工	基 礎 砕 石	RC-40 t=10cm	m ³	0.5	
	モ ル タ ル	1:3	m ³	0.1	
	本 体	1.0m/本 参考重量 172kg	本	10	
	グレーチング蓋	(車道用) L=1.0m/枚 参考重量 23kg	枚	10	
作 業 土 工	機 械 床 掘		m ³	-	
	埋 戻 し D		m ³	-	
	基 面 整 正		m ²	4.6	

略 図

グレーチング落蓋側溝250



(10.0m当り数量)

種 別	算 式	数 量
1. 基礎碎石 (RC-40) t=10cm	$V = 0.46 \times 0.10 \times 10.000 =$	0.5 m ³
2. モルタル (1 : 3)	$V = 0.30 \times 0.03 \times 10.000 =$	0.1 m ³
3. 本 体	$N = 10.000 \div 1.000$ (m/本)	10.0 本
4. グレーチング蓋	$N =$	10 枚
5. 基面整正	$A = 0.46 \times 10.000 =$	4.6 m ²

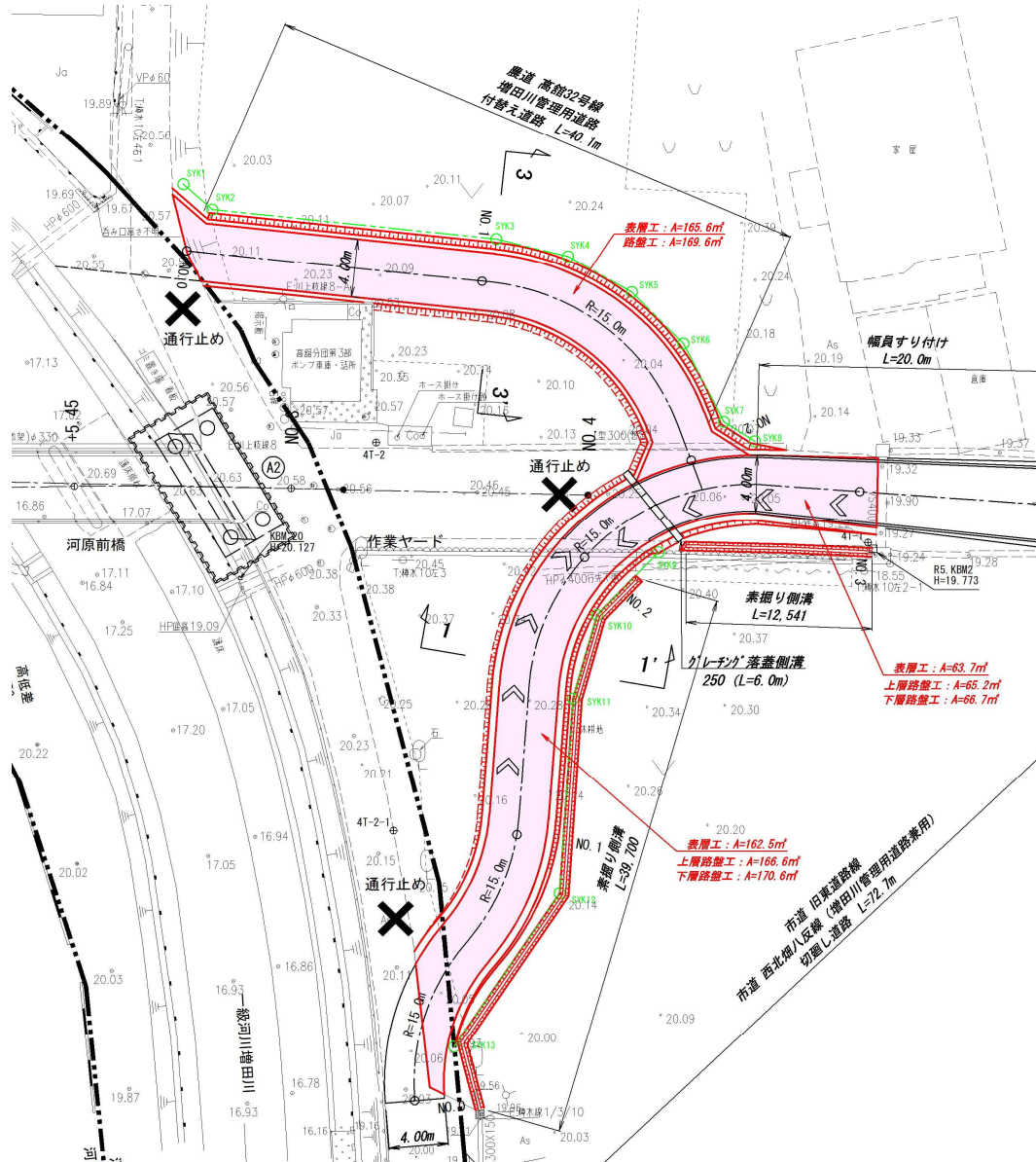
§ 4. 舖 装 工

鋪 装 工 数 量 集 計 表

[illegible]

舗装工計算書

略 図



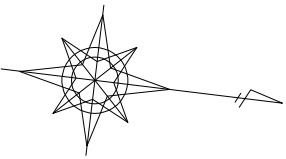
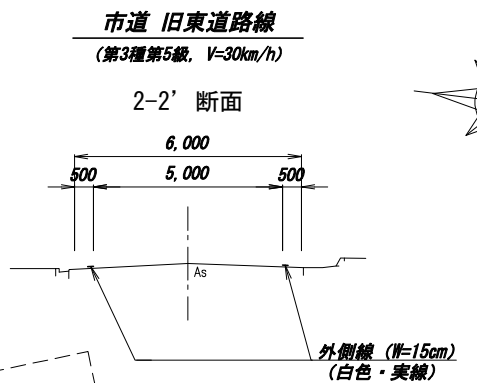
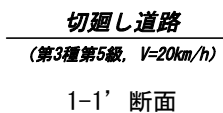
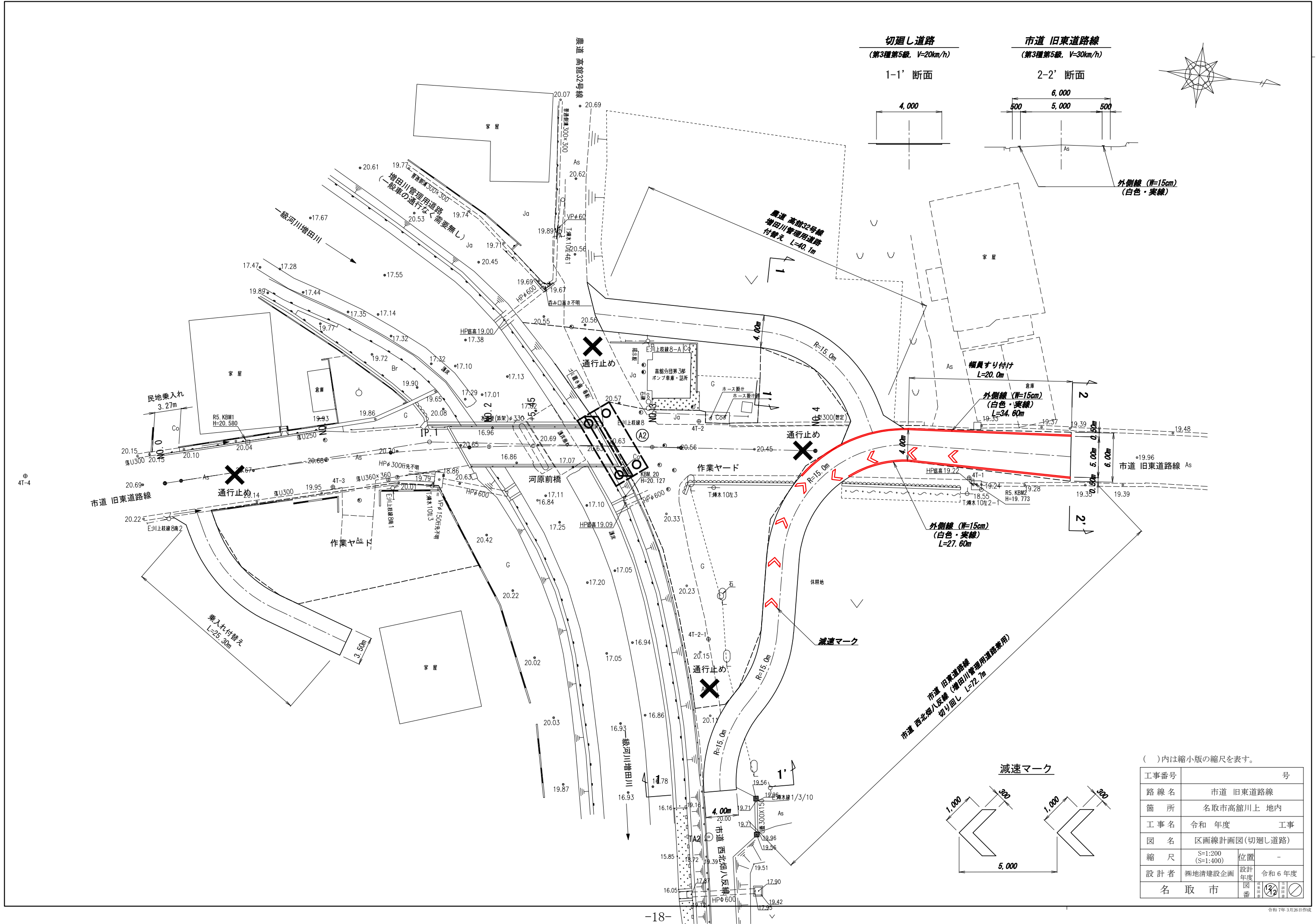
種 別	算 式	数 量
【切廻し道路】		
1. 表層工	$A = \begin{matrix} 162.50 \\ \text{(CAD求積)} \end{matrix} + \begin{matrix} 63.70 \\ \text{(CAD求積)} \end{matrix}$	$= 226.2 \text{ m}^2$
2. 上層路盤工	$A = \begin{matrix} 166.60 \\ \text{(CAD求積)} \end{matrix} + \begin{matrix} 65.20 \\ \text{(CAD求積)} \end{matrix}$	$= 231.8 \text{ m}^2$
3. 下層路盤工	$A = \begin{matrix} 170.60 \\ \text{(CAD求積)} \end{matrix} + \begin{matrix} 66.70 \\ \text{(CAD求積)} \end{matrix}$	$= 237.3 \text{ m}^2$
4. 土木安定シート	$A = \begin{matrix} 6.10 \\ \text{(敷設幅)} \end{matrix} \times \begin{matrix} 34.60 \\ \text{(対象延長)} \end{matrix}$	$= 211.1 \text{ m}^2$

種 別	算 式	数 量
【付替え道路】		
1. 表層工	$A = 165.60$ (CAD求積)	$= 165.6 \text{ m}^2$
2. 路盤工	$A = 169.60$ (CAD求積)	$= 169.6 \text{ m}^2$
3. 土木安定シート	$A = 6.00 \times 38.80$ (敷設幅) (対象延長)	$= 232.8 \text{ m}^2$

§ 5. 区 画 線 工

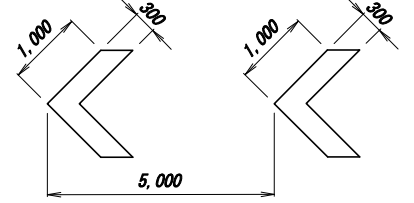
区 画 線 工 数 量 集 計 表

細 別	規 格	単位	数 量	備 考
溶融式区画線				
外 側 線	実線、白色、W=15cm	m	62.2	27.6 + 34.6
減速マーク	実線、白色、W=15cm換算	m	32.0	4.0m/箇所 × 8



減速マーク

減速マーク



()内は縮小版の縮尺を表す。

工事番号	号		
路線名	市道 旧東道路線		
箇所	名取市高館川上 地内		
工事名	令和 年度	工事	
図名	区画線計画面図(切廻し道路)		
縮尺	S=1:200 (S=1:400)	位置	-
設計者	㈱地清建設企画	設計年度	令和 6 年度
名取市	図番	成 建 計 122	

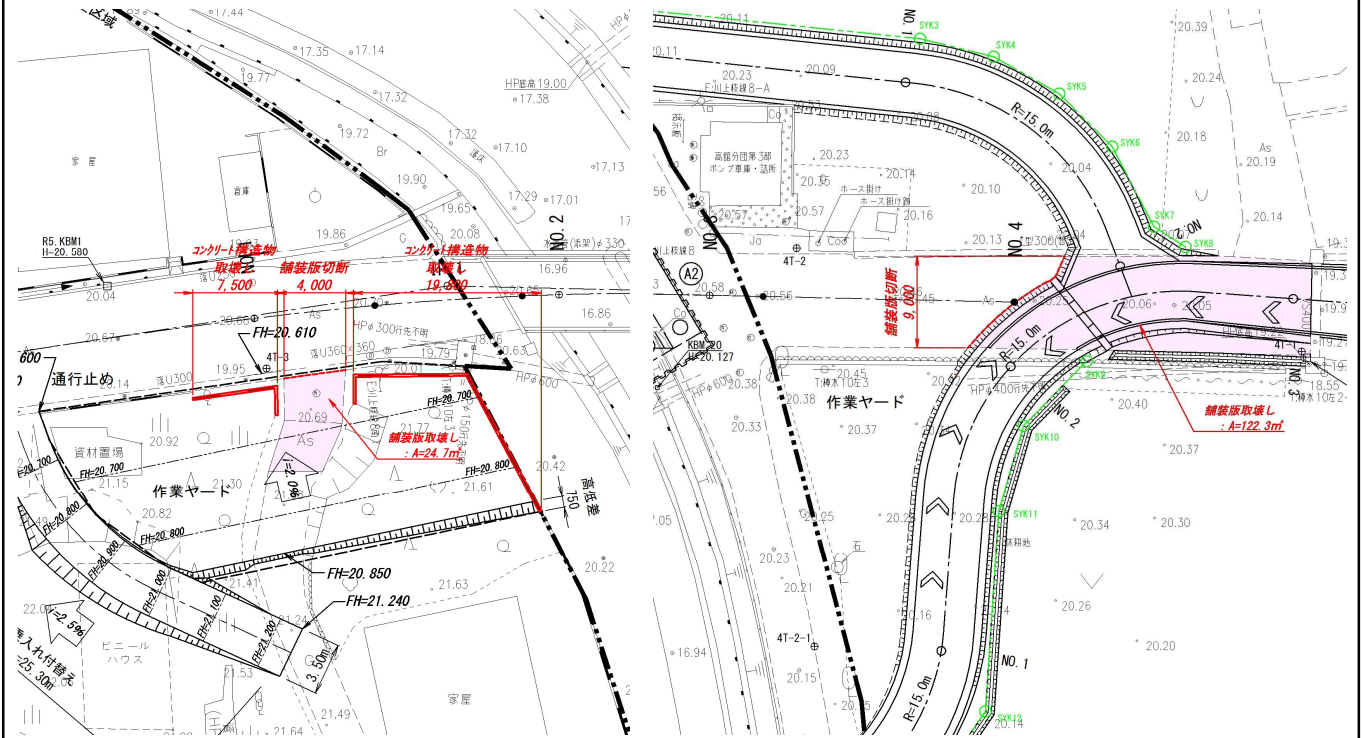
§ 6. 構 造 物 撤 去 工

構造物撤去工 数量集計表

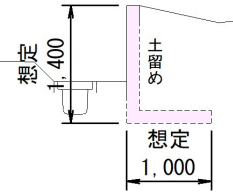
[illegible]

構造物撤去工 計 算 書

略 図



種 別	算 式	数 量
1. 舗装版切断 ($t \leq 15\text{cm}$)	$L = 4.00 + 9.00 =$	13.0 m
2. コンクリート 構造物取壊し (鉄筋構造物)	対象延長 $L = 7.50 + 19.80 = 27.3 \text{ m}$ 想定断面積 $A1 = 1.40 \times 0.15 = 0.21 \text{ m}^2$ $A2 = 0.85 \times 0.15 = 0.13 \text{ m}^2$ $\Sigma A = 0.34 \text{ m}^2$ 取壊し体積 $V = 27.3 \times 0.34 =$	9.2 m³
3. 舗装版破碎 アスファルト舗装 $t \leq 15\text{cm}$	既設舗装厚 $t=10\text{cm}$ $A1 = 122.30$ 既設舗装厚 $t=5\text{cm}$ $A2 = 24.70$ $\Sigma A =$	147.0 m ²

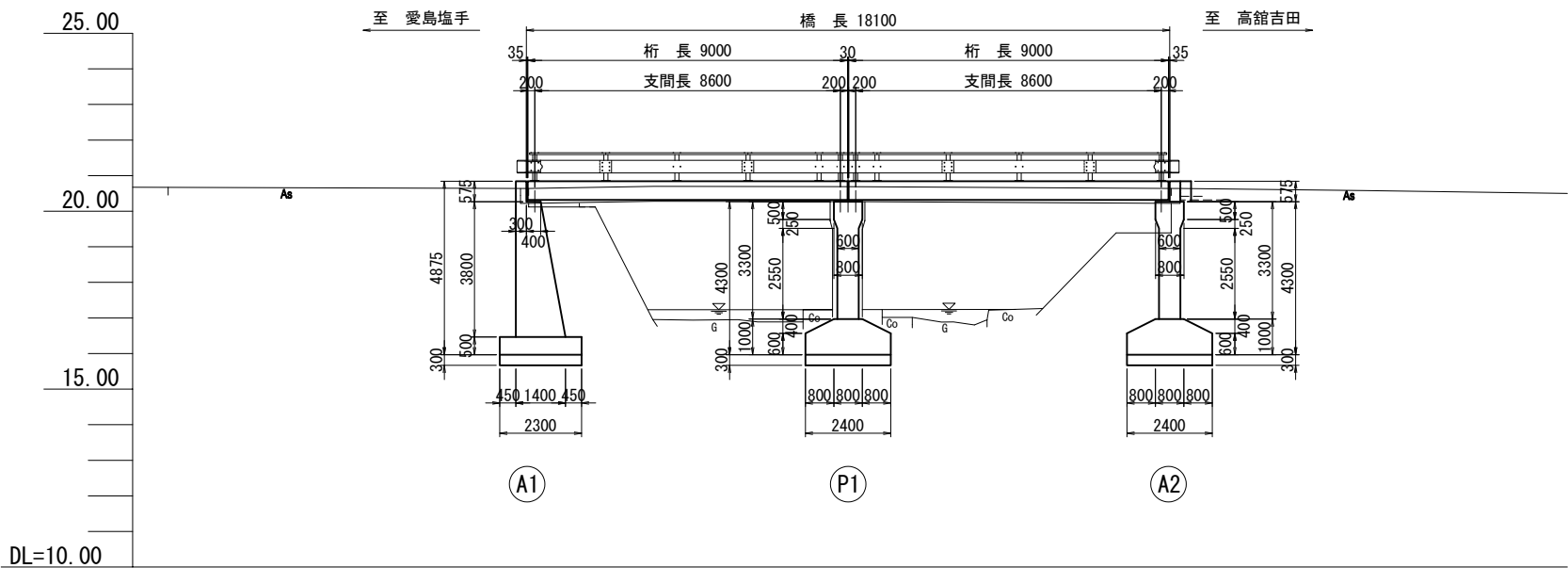


種 別	算 式	数 量
4. 殻運搬処理 (鉄筋構造物)	$V1 = \text{コンクリート構造物取壊し(鉄筋構造物) より} = 9.21$ $\Sigma V = 9.2 \text{ m}^3$	
5. 殻運搬処理 アスファルト	$V1 = 122.30 \times 0.10 = 12.23$ $V2 = 24.70 \times 0.05 = 1.24$ $\Sigma V = 13.5 \text{ m}^3$	

河原前橋 現況一般図

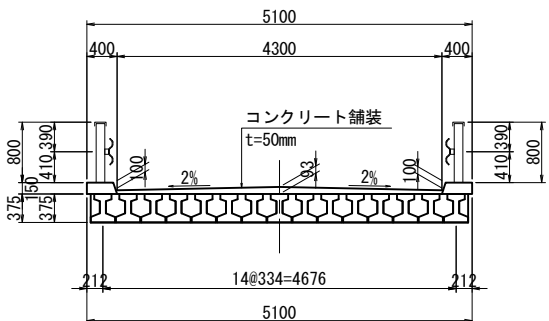
側面図

S=1:100
(S=1:200)



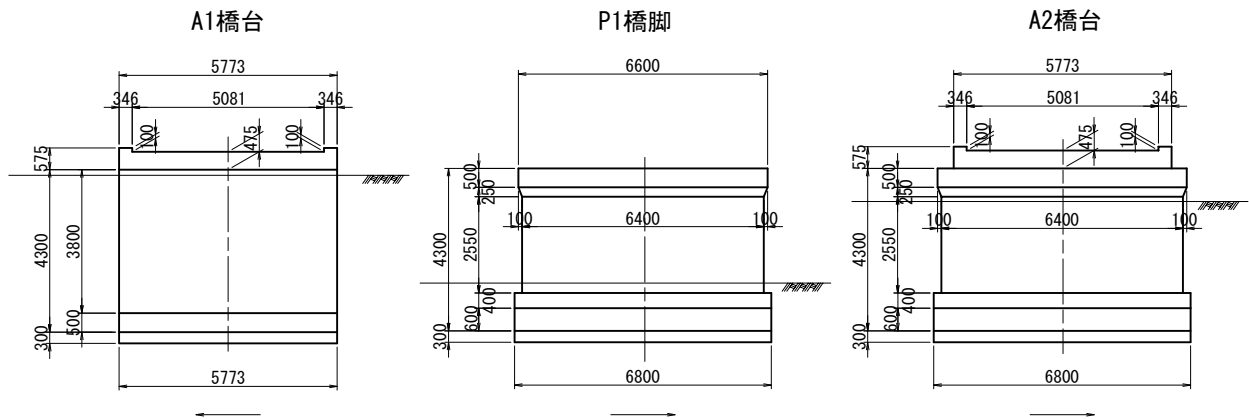
上部工断面図

S=1:50
(S=1:100)



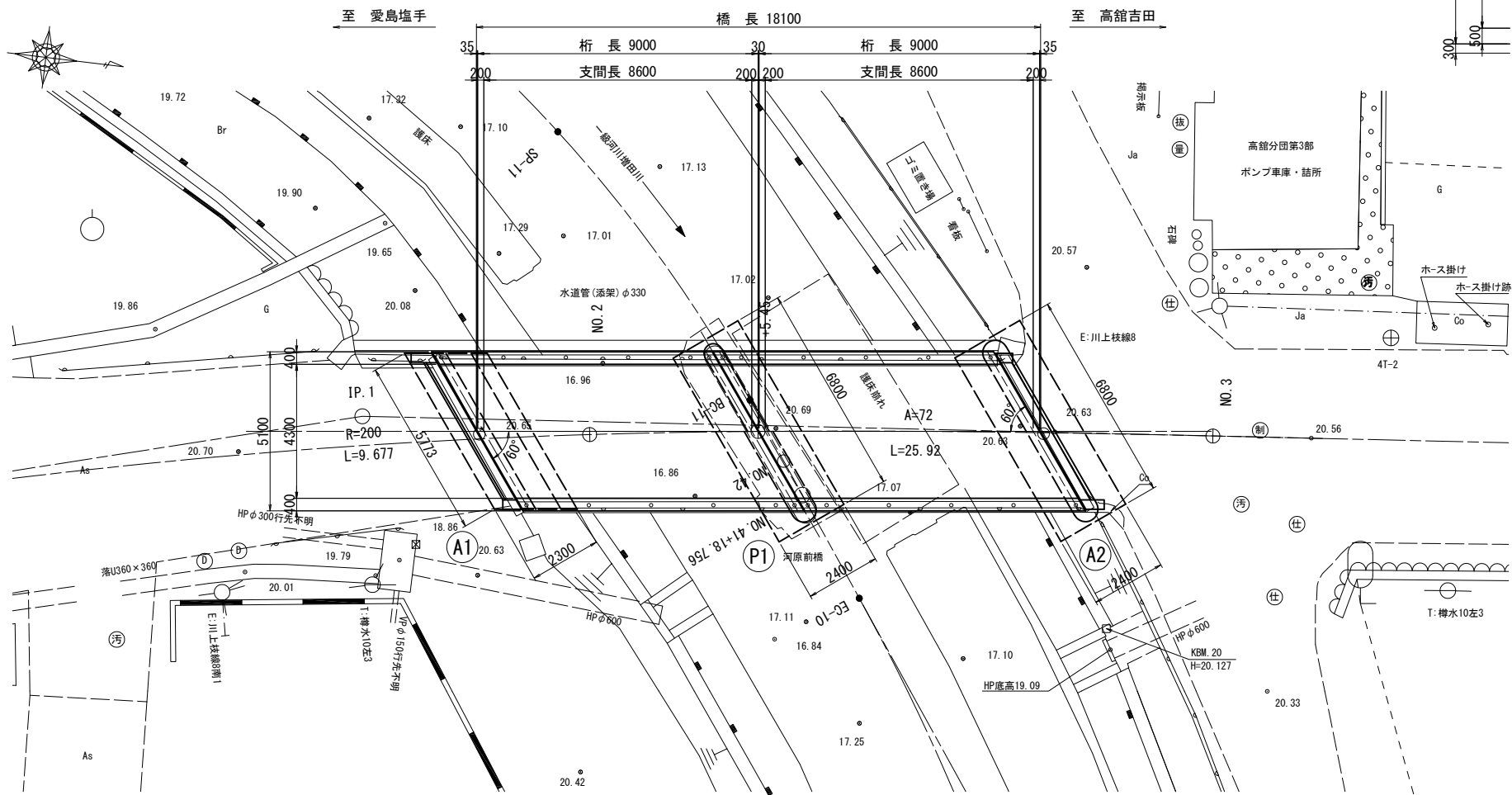
下部工正面図

S=1:100
(S=1:200)



平面図

S=1:100
(S=1:200)



設計条件

橋梁名	河原前橋(カワラマエバシ)
路線名	市道 旧東道路線
所在地	名取市高館川上地内
橋長	18.100m
桁長	9.000+9.000m
支間長	8.600+8.600m
全幅員	5.100m
有効幅員	4.300m
横断勾配	2%
舗装	コンクリート舗装 t=50mm
斜角	60° 0'
上部工形式	2径間プレテンション方式PC床版橋
下部工形式	重力式橋台、ピアバット、壁式橋脚
基礎形式	直接基礎
施工年月	1965年(昭和40年)
適用方書	道路橋示方書(1956)
設計荷重	1等橋
交差条件	河川(増田川)

()内は縮小版の縮尺を表す。

工事番号	号		
路線名	市道 旧東道路線		
箇所	名取市高館川上 地内		
工事名	令和 年度	工事	
図名	河原前橋 現況一般図		
縮尺	図示	位置	-
設計者	㈱地清建設企画	設計年度	令和 6 年度
名取市	図番		

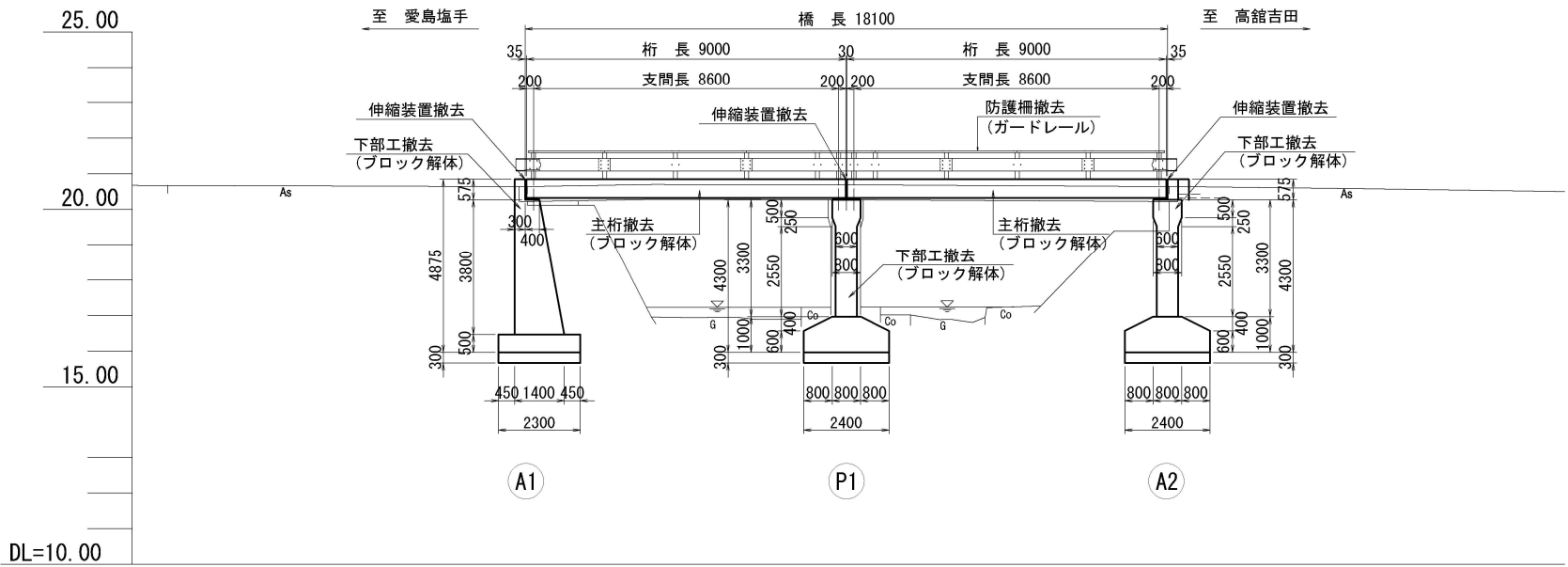
注記

1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
2. 下部工において、地中部の形状・寸法は推定である。
3. 施工時に再度計測し、形状を確認すること。

河原前橋 撤去一般図

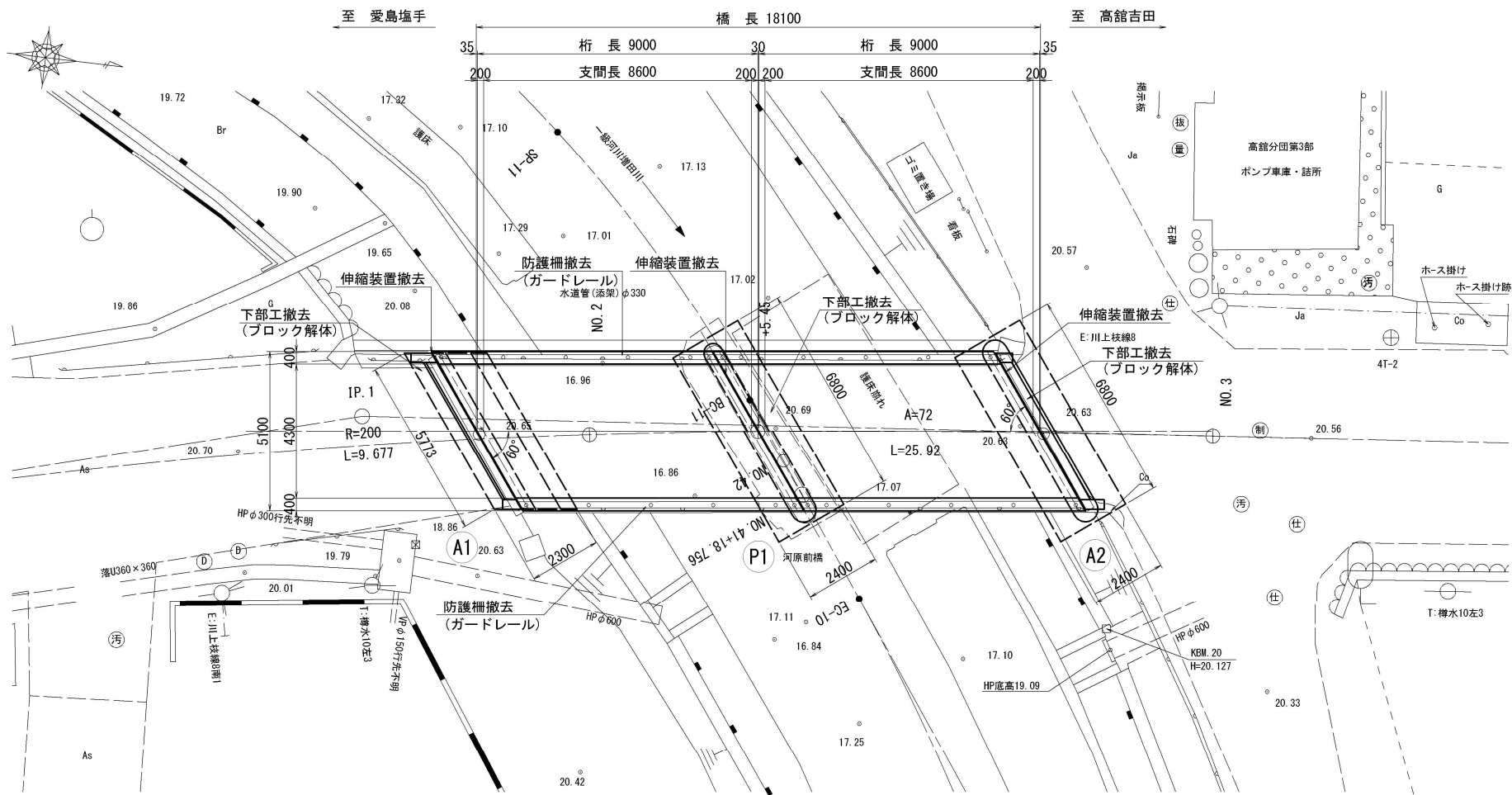
側面図

S=1:100
(S=1:200)



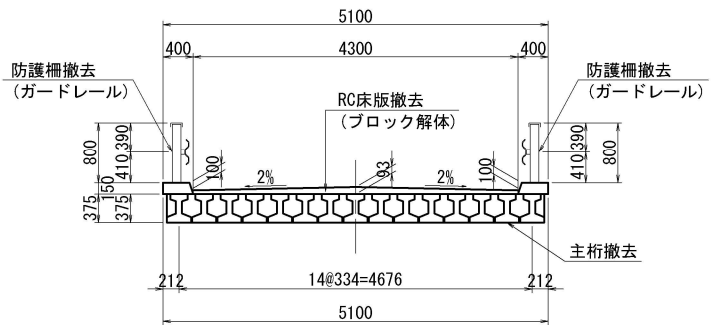
平面図

S=1:100
(S=1:200)



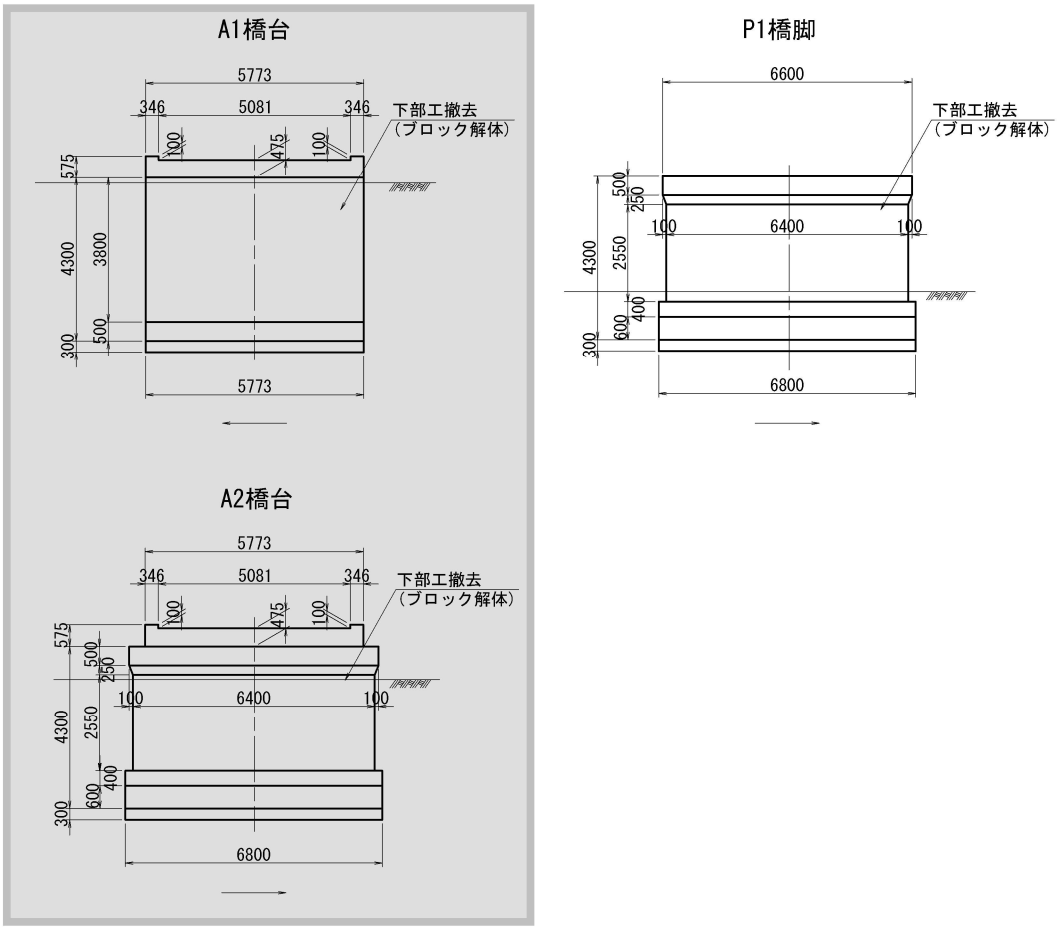
上部工断面図

S=1:50
(S=1:100)



下部工正面図

S=1:100
(S=1:200)



撤去項目

撤去部位	内 容
防護柵	支柱ガス切断による撤去
伸縮装置	エラストイトの撤去
舗装+主桁	ワイヤソー切断によるブロック解体 クレーンによる支間一括撤去
下部工	カッター工およびワイヤソー工切断、 油圧式静的破壊工によるブロック解体

注記

- 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
- 下部工において、地中部の形状・寸法は推定である。
- 施工時に再度計測し、形状を確認すること。

()内は縮小版の縮尺を表す。

工事番号	号
路線名	市道 旧東道路線
箇所	名取市高館川上 地内
工事名	令和 年度 工事
図 名	河原前橋 撤去一般図
縮 尺	図示 位置 -
設計者	瀬地清建設企画 設計年度 令和 6 年度
名 取 市	図番

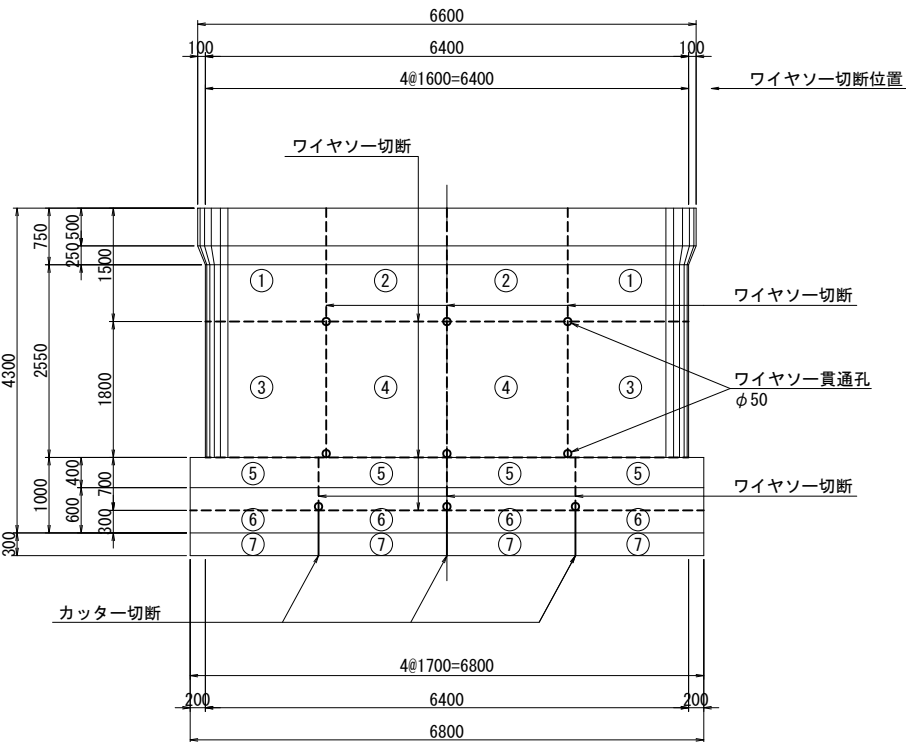
下部工撤去図(その2)

(P1橋脚)

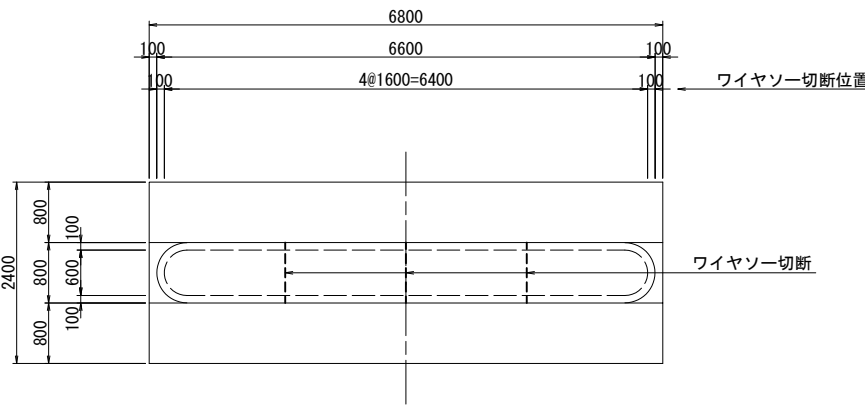
S=1:50

(S=1:100)

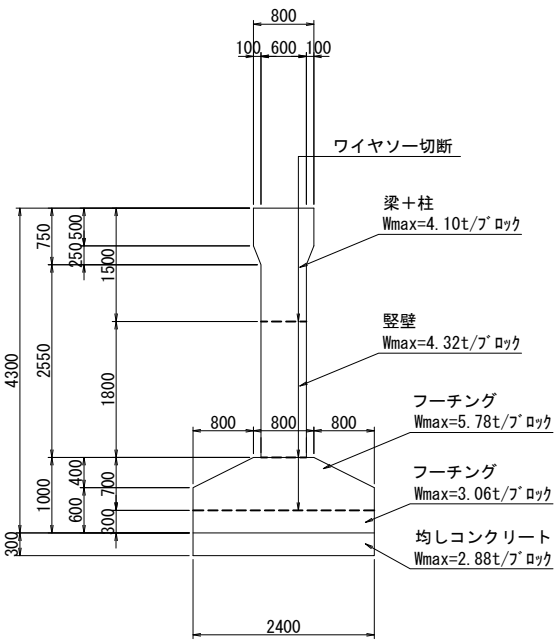
正面図



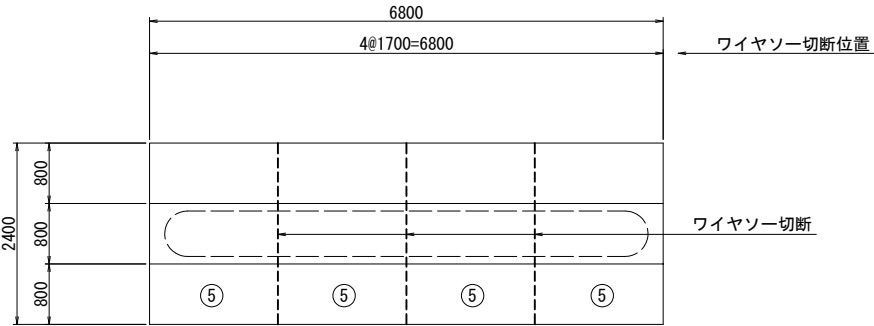
平面図



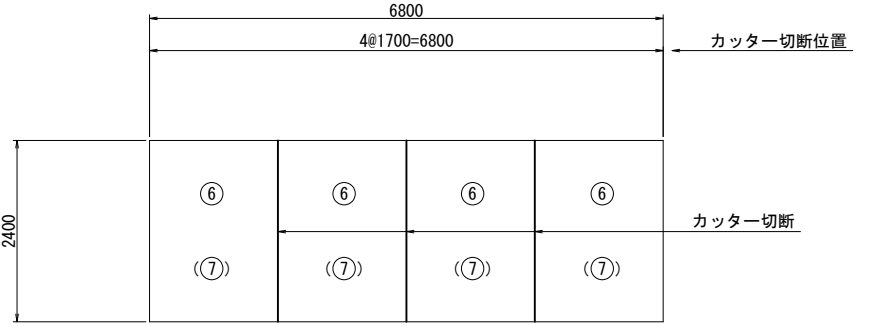
断面図



フーチング(上部)



フーチング(下部)
(均しコンクリート)



※()内は、均しコンクリートを示す。

解体ブロック重量表

ブロック番号	部 位	区 分	重量 (t)
①	梁+柱	有筋	4.09
②	梁+柱	有筋	4.10
③	柱	有筋	4.14
④	柱	有筋	4.32
⑤	フーチング	有筋	5.78
⑥	フーチング	有筋	3.06
⑦	均しコンクリート	無筋	2.88

凡例

-----	ワイヤソー切断
————	カッター切断
○	ワイヤソー貫通孔

※解体ブロック撤去時の吊孔は、撤去状況に応じて、適宜設置する。

注記

- 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
- 下部工において、地中部の形状・寸法は推定である。
- 施工時に再度計測し、形状を確認すること。

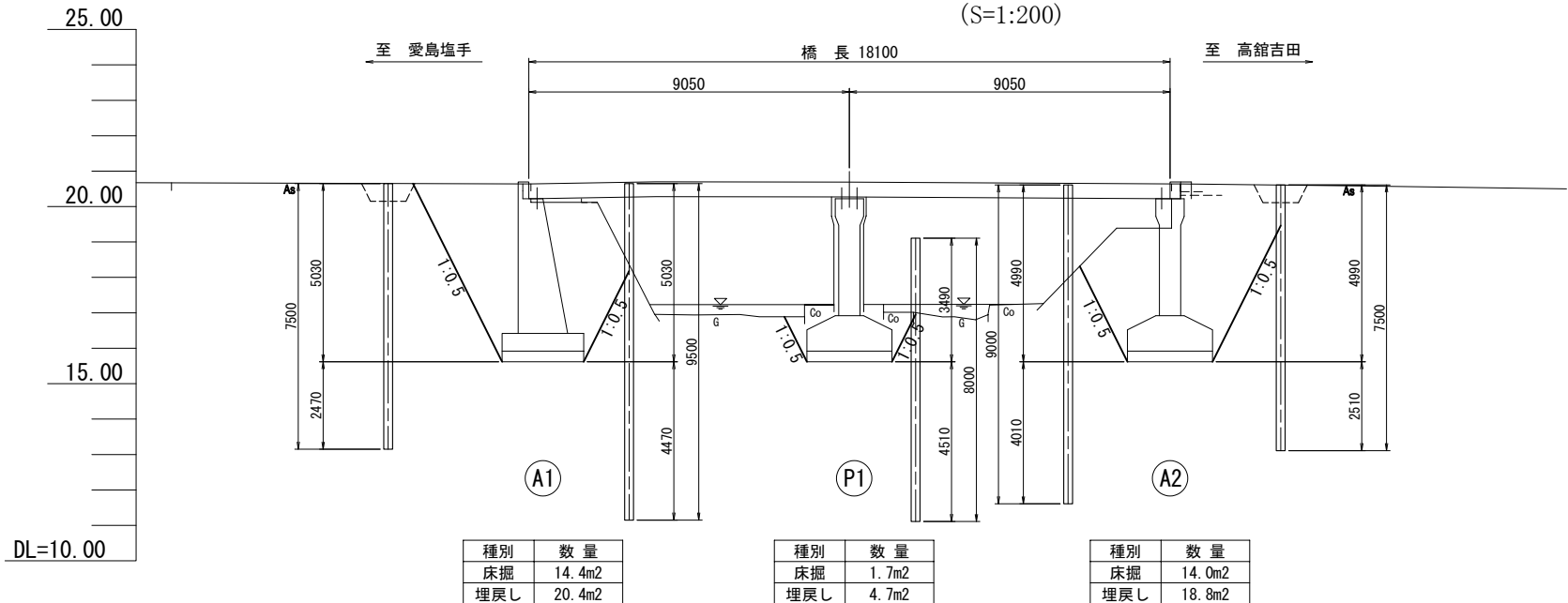
()内は縮小版の縮尺を表す。

工事番号	号
路 線 名	市道 旧東道路線
箇 所	名取市高館川上 地内
工 事 名	令和 年度 工事
図 名	下部工撤去図(その2)
縮 尺	図 示 位置 -
設 計 者	㈱地清建設企画 設計 年度 令和 6 年度
名 取 市	図 番 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

土工図計画図

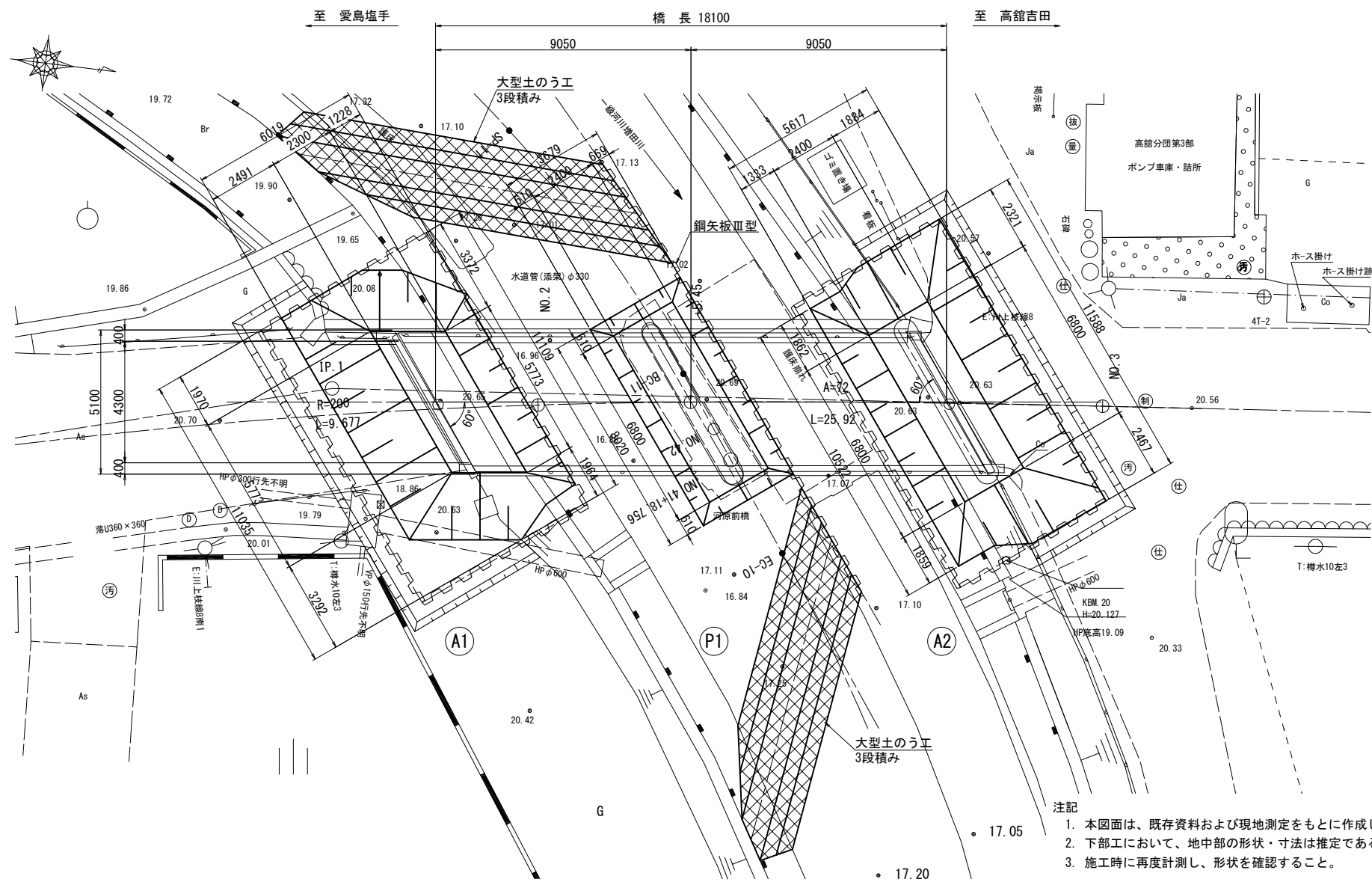
側面図

S=1:100
(S=1:200)



平面図

S=1:100
(S=1:200)



()内は縮小版の縮尺を表す。

工事番号	号		
路線名	市道 旧東道路線		
箇所	名取市高館川上 地内		
工事名	令和 年度	工事	
図 名	土工図計画図		
縮 尺	図 示	位置	-
設計 者	㈱地清建設企画	設計年度	令和 6 年度
名 取 市	図番	東館川上地区 市道 旧東道路線	市道 旧東道路線

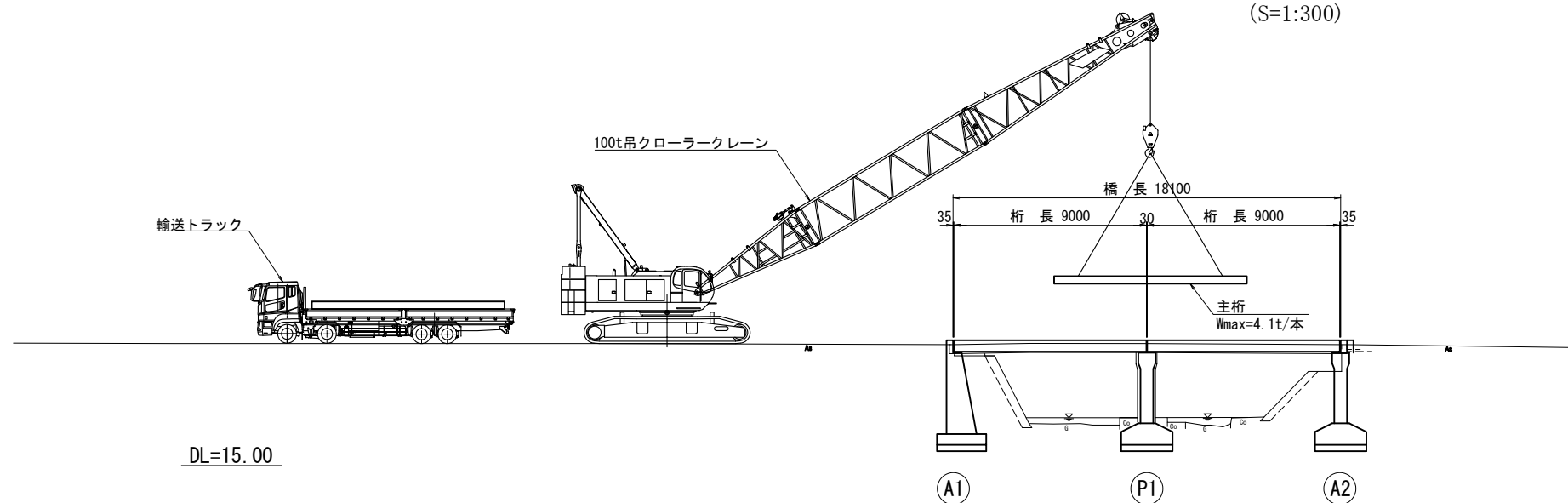
- 注記
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
 2. 下部工において、地中部の形状・寸法は推定である。
 3. 施工時に再度計測し、形状を確認すること。

施工ステップ図(その1)

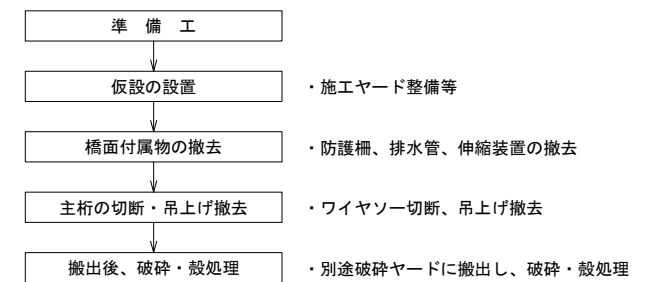
(旧橋撤去:上部工撤去)

側面図

S=1:150
(S=1:300)



施工フロー



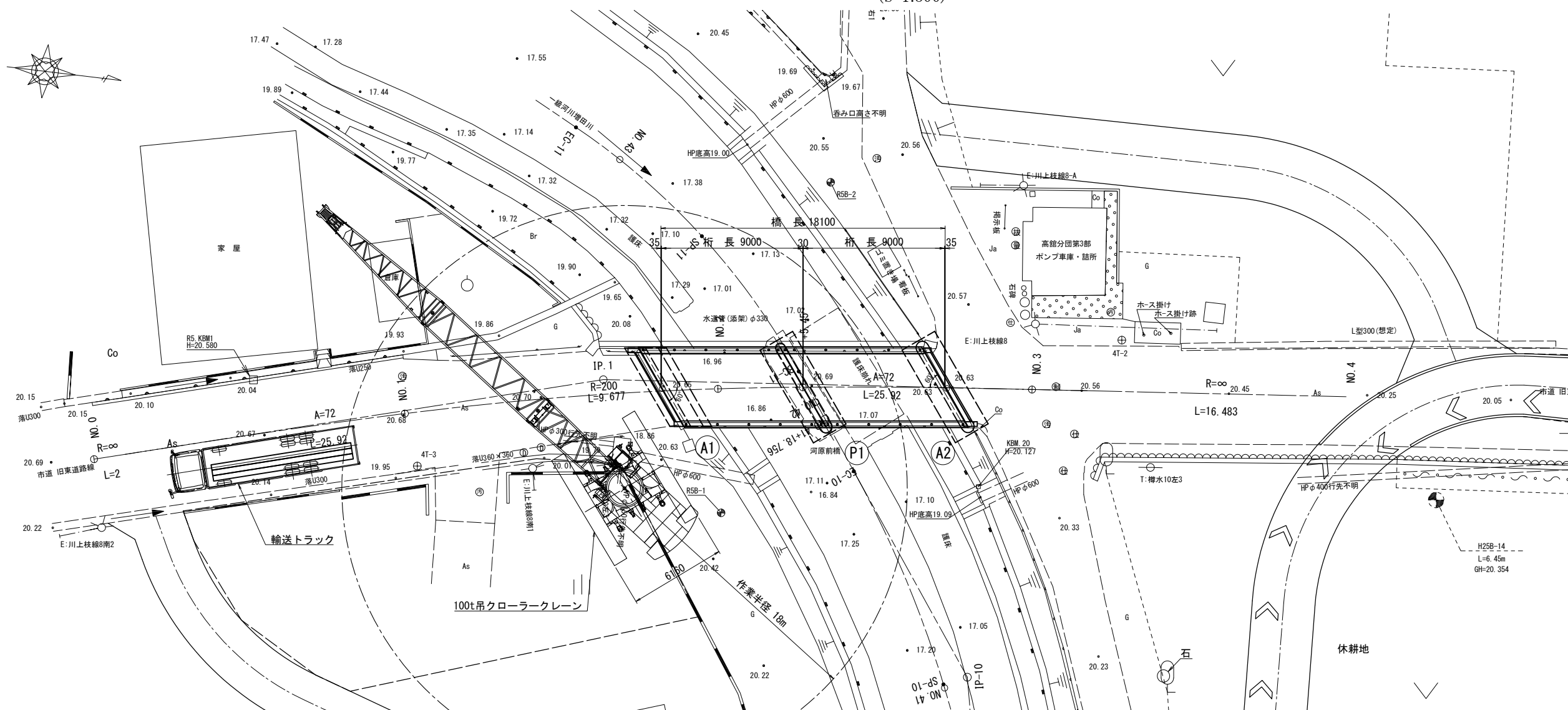
定格総荷重表 (クローラー・クレーン 100t吊り)

ブーム長さ 作業半径	18.3m	21.3m	24.4m	27.4m	30.5m	33.5m	36.6m
12.0m	36.5	36.3	36.1	36.1	35.9	35.7	35.7
14.0m	29.8	29.5	29.3	29.2	29.0	28.9	28.8
16.0m	24.1	24.8	24.6	24.5	24.3	24.1	24.0
18.0m	17.5/19.8	21.3	21.0	20.9	20.7	20.6	20.5
20.0m		17.2	18.4	18.2	18.0	17.8	17.8
22.0m		20.1/16.9	15.8	16.1	15.9	15.7	15.6

※クレーン選定荷重
Wmax=4.1t/本×20%=4.9t

平面図

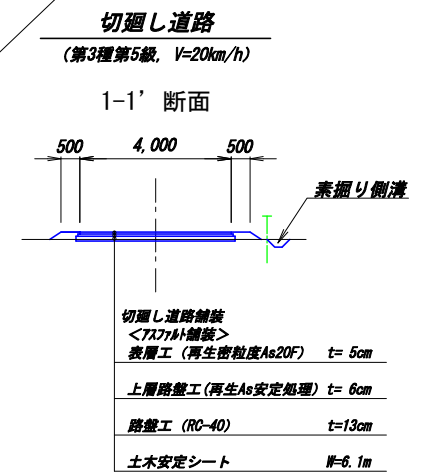
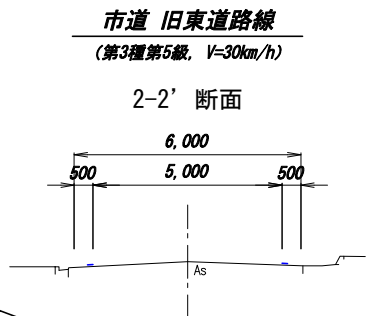
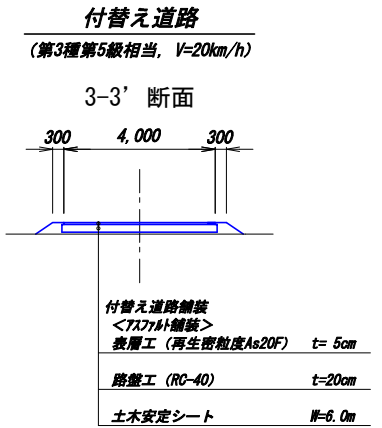
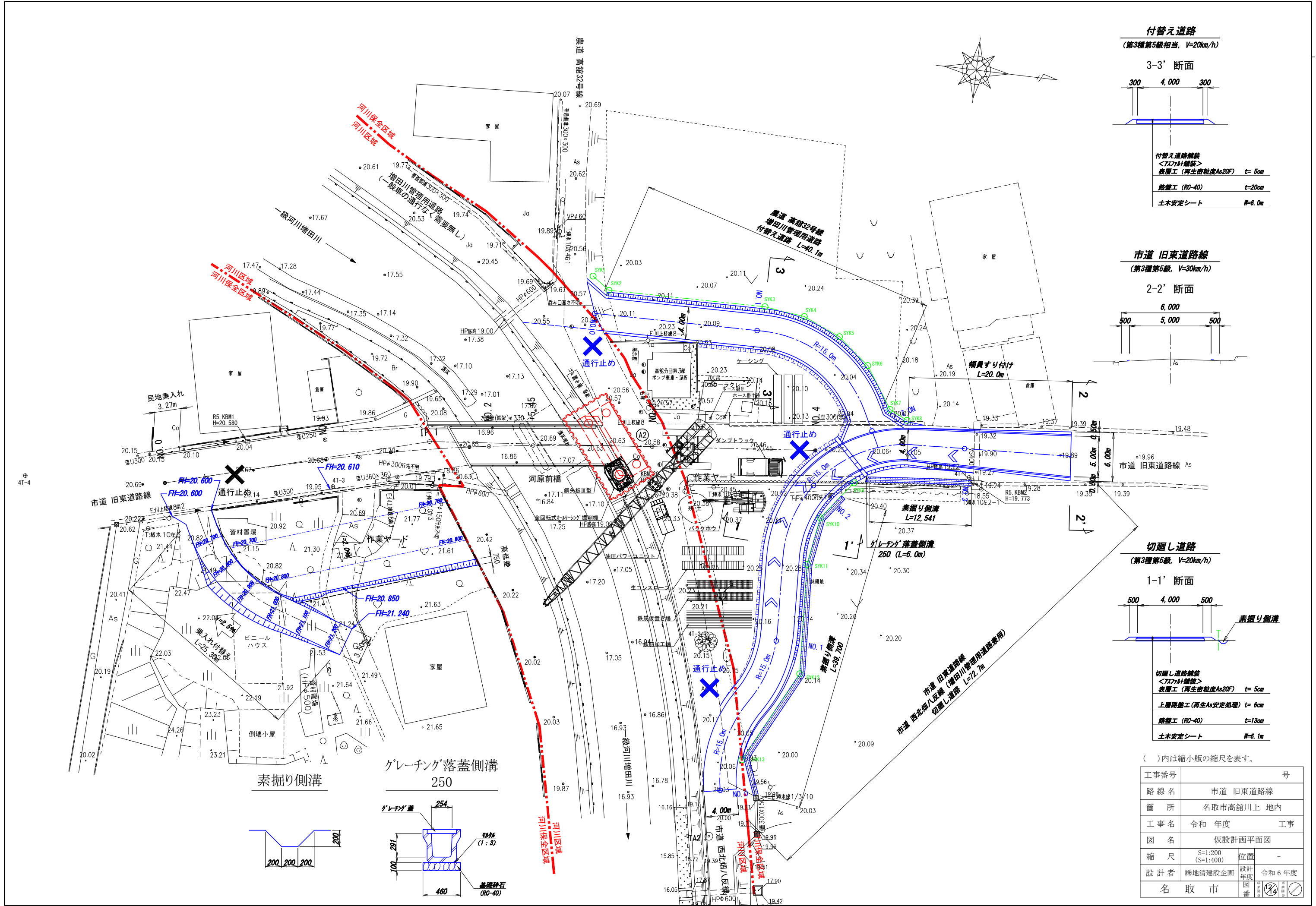
S=1:150
(S=1:300)



()内は縮小版の縮尺を表す。

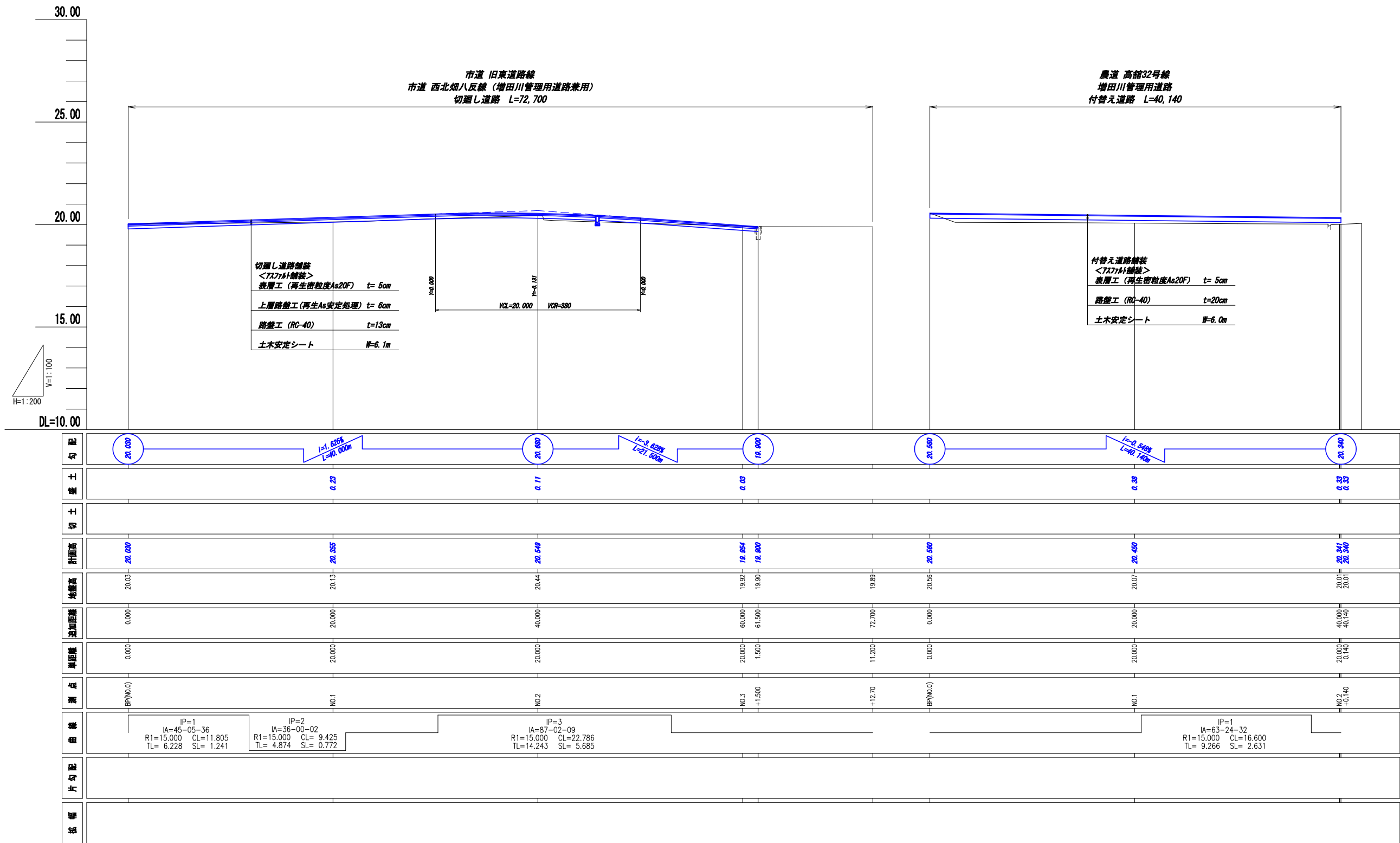
工事番号	号		
路線名	市道 旧東道路線		
箇所	名取市高館川上 地内		
工事名	令和 年度	工事	
図名	施工ステップ図(その1)		
縮尺	図示	位置	-
設計者	㈱地清建設企画	設計年度	令和6年度
名取市	図番	使用済 図番	変更済 図番

</



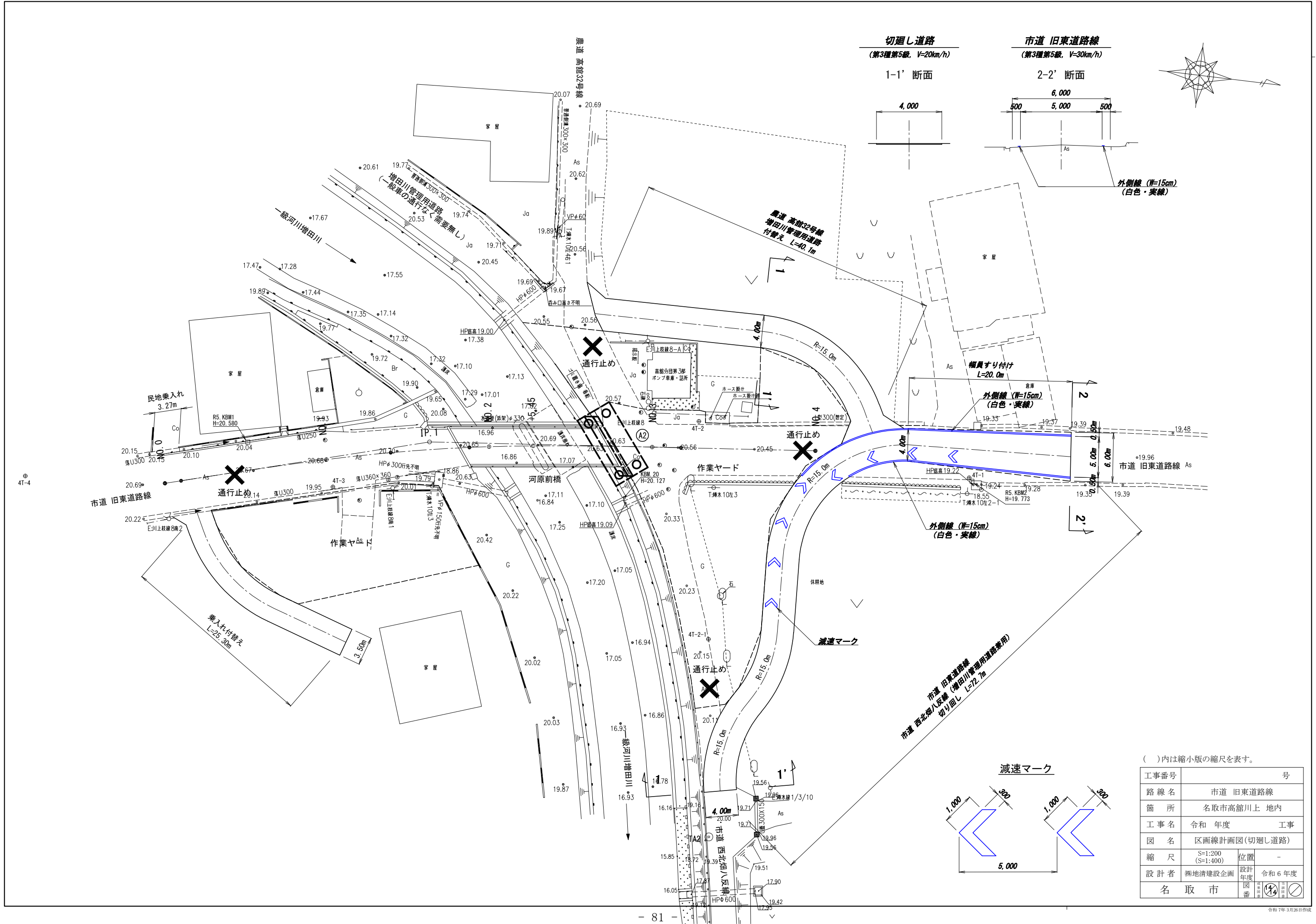
()内は縮小版の縮尺を表す。

工事番号	号		
路線名	市道 旧東道路線		
箇所	名取市高館川上 地内		
工事名	令和 年度	工事	
図名	仮設計画平面図		
縮尺	S=1:200 (S=1:400)	位置	-
設計者	㈱地清建設企画	設計年度	令和 6 年度
名取市	図番	図番 124	市道 124



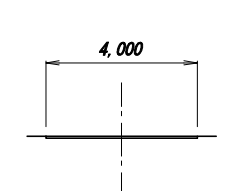
()内は縮小版の縮尺を表す。

工事番号	号		
路線名	市道 西北畑八反線 農道 高館32号線		
箇所	名取市高館川上 地内		
工事名	令和 年度	工事	
図名	縦断面図(切廻し道路、付替え道路)		
縮尺	V=1:100(200) H=1:250(500)	位置	-
設計者	㈱地清建設企画	設計年度	令和 6 年度
名取市	図番		



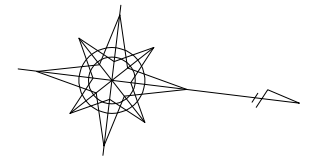
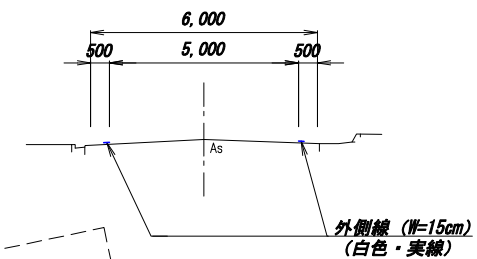
切廻し道路
(第3種第5級, V=20km/h)

1-1' 断面



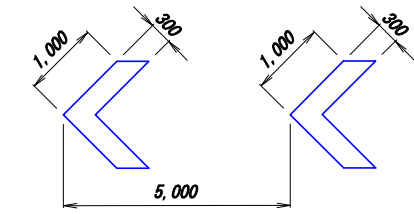
市道 旧東道路線
(第3種第5級, V=30km/h)

2-2' 断面



市道 旧東道路線
市道 西北畑八反線 (増田川管理用道路兼用)
切り返し L=72.7m

減速マーク



()内は縮小版の縮尺を表す。

工事番号	号		
路線名	市道 旧東道路線		
箇所	名取市高館川上 地内		
工事名	令和 年度	工事	
図 名	区画線計画図(切廻し道路)		
縮 尺	S=1:200 (S=1:400)	位置	-
設計者	㈱地清建設企画	設計年度	令和 6 年度
名 取 市	図番	図番 14 10 道路幅員 10m 道路種別 市道	